

■利用者アンケート調査結果について

1. 調査概要

主に民間路線バスを対象に、公共交通サービスの利用者に対する満足度等の把握のためのアンケート調査を行った。

当該調査のポイントは、「利用者にとって、満足度の低い路線とその内容」を抽出する。

表 アンケート調査方法（概要）

調査項目	属性（性別、居住地、年齢、職業） 利用状況（乗降バス停、目的、頻度、乗り継ぎ） 満足度（頻度・定時性・ダイヤ・鉄道との接続性）
実施時期	9月頃を想定（夏季休暇時期を除外、交通事業者と調整し設定）
名鉄バス 江南市内路線のみ	○対象路線 ・江南・病院線、江南団地線 ※一宮市をまたぐ広域路線は、支援対象外路線のため調査対象から除外 ○調査員による車内配布、車内・郵送回収 車両の運行が不効率、広域路線の場合は、江南駅等での直接配布方法で対応
いこまい CAR	○調査員の同乗が困難であるため、交通事業者による直接配布・郵送回収
大口町コミュニティバス	○江南市民を主に調査するため、市内を通過する車両内で直接配布・郵送回収

2. 配布数・回収数

	調査日	配布数	回収数（率）
名鉄バス 江南・病院線	9月4・5日 （日・月曜日）	557票 （131+426）	346票 （62.1%）
名鉄バス 江南団地線	9月4・5日 （日・月曜日）	693票 （288+405）	295票 （42.6%）
いこまい CAR	8月27日～9月10日		109票
大口町コミュニティバス 中部・南部ルート	9月4～6日 （日・月・火曜日）	32票 （中部18、南部14）	18票 （56.3%）

※回収日：9月14日（水）到着分まで

3. 調査結果（要約）

（1）名鉄バス「江南・病院線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」42%、「通院」32%、「買い物」11%、「娯楽」9%、「訪問」9%。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・増便、鉄道接続見直し、夜便確保等要望あり。

（2）名鉄バス「江南・団地線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」54%、「買い物」29%、「通院」18%、「娯楽」17%、「訪問」11%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「ダイヤ設定」が他と比べ低い。
- ・増便、夜便確保、鉄道接続見直し等要望あり。

（3）いこまいCARの利用者意向

- ・利用目的：「通院」93%、「買い物」37%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「運行区域、料金設定」が他と比べ低い。
- ・市外利用、料金設定、当日予約等要望あり。

（4）大口町コミュニティバスの利用者意向

- ・利用目的：「通院・買い物」（5件）
「通勤、訪問、娯楽」（2件）。分散利用。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・便数増等の要望あり。

（5）満足度の比較（満足度の低い路線）

○名鉄バス「江南・病院線」が4項目中3項目で満足度の合計値が50%を下回った。

	名鉄バス「江南・病院線」	名鉄バス「江南団地線」	大口町コミュニティバス
運行頻度	43.3	55.2	33.3
定時性（遅れ）	61.6	51.5	83.4
ダイヤ設定	38.1	46.4	44.4
鉄道等との接続性	49.5	57.0	55.6

※満足・やや満足の合計値

○いこまいCARの満足の合計値

- ・予約受付時間：79.8、利用時間：70.6、運行区域64.2、利用目的71.6、料金設定68.8
- ・50%を下回った項目は特に無し。

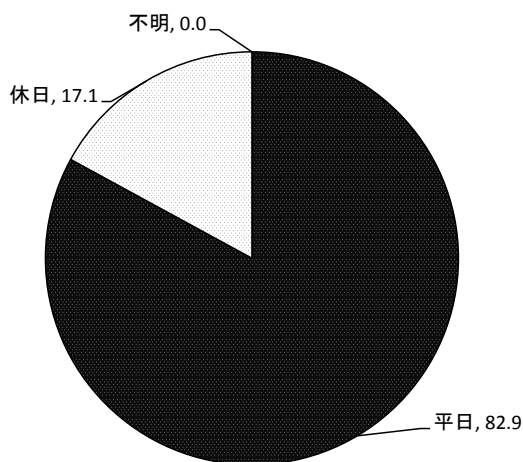
※以後表示しているグラフの数値は、端数処理により合計が100%にならない場合があります。

4. 名鉄バス「江南・病院線」の調査結果

(1) 回答者属性

○調査日

- ・平日が 82.9%、休日が 17.1%となっている。

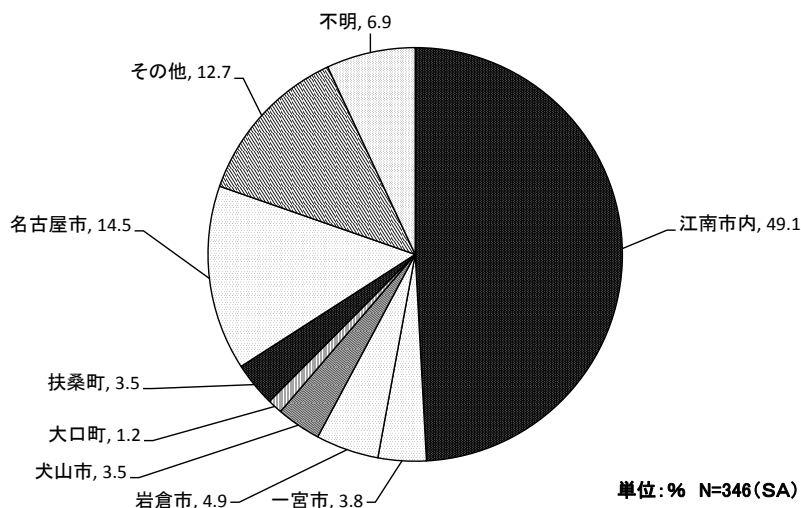


単位: % N=346(SA)

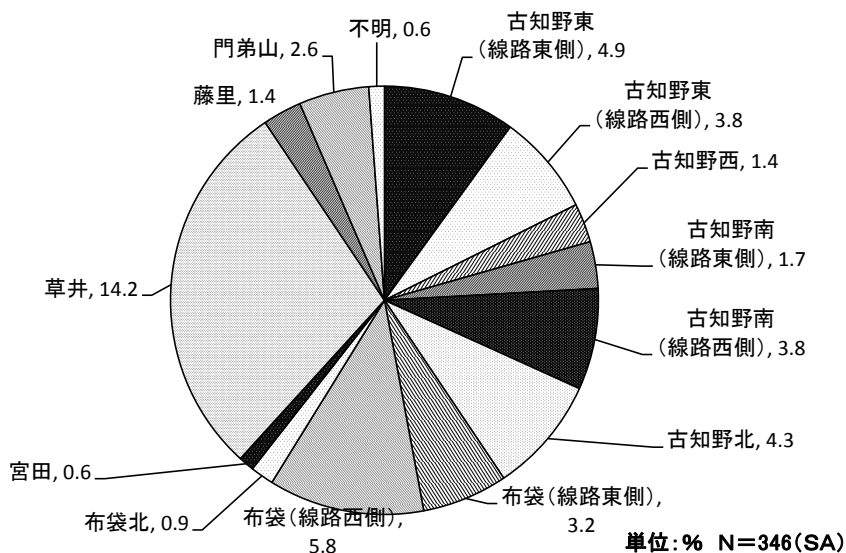
○居住地

- ・江南市内が 49.1%。次いで名古屋市が 14.5%となっている。

- ・江南市内では、草井が 14.2%と最も多く、次いで、布袋(線路西側)が 5.8%となっている。



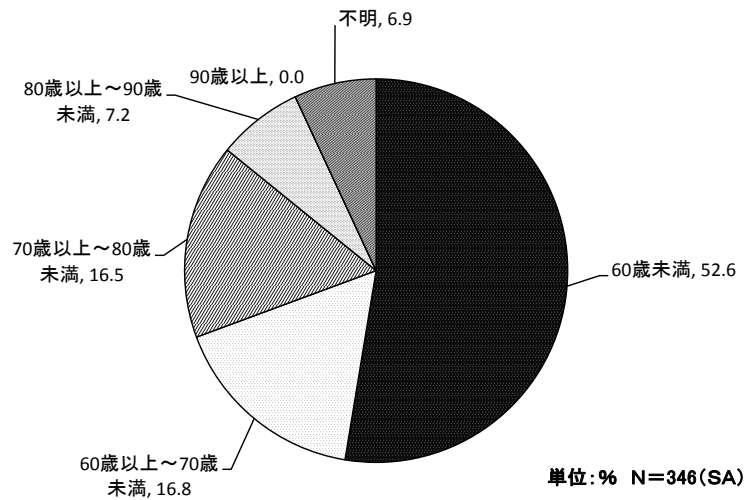
単位: % N=346(SA)



単位: % N=346(SA)

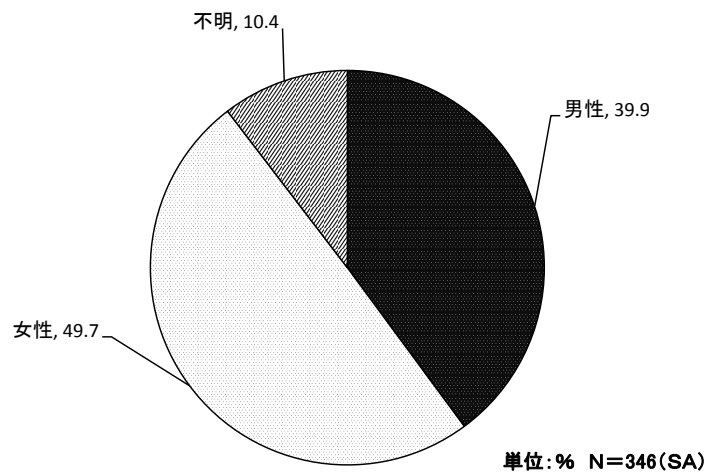
○年齢

- ・回答者の年齢では、60歳未満が52.6%。
- ・70歳・80歳台の利用は、23.7%となっている。



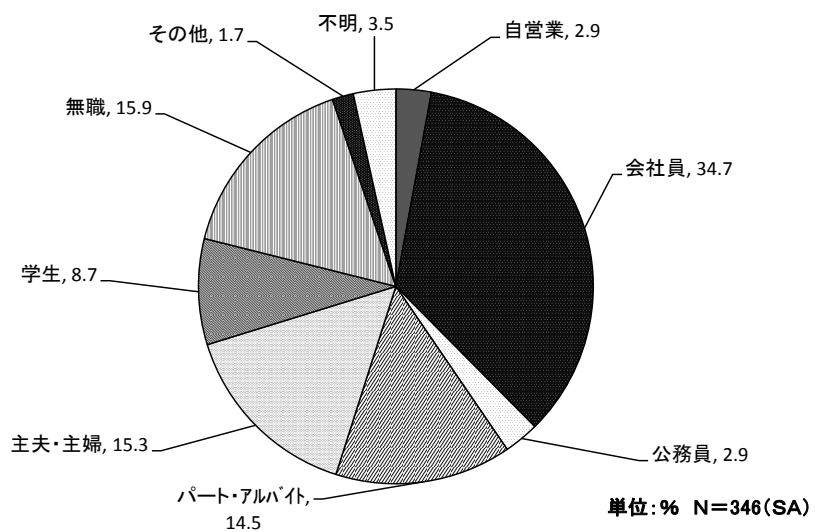
○性別

- ・女性が49.7%となっており、女性の利用が多い。



○職業

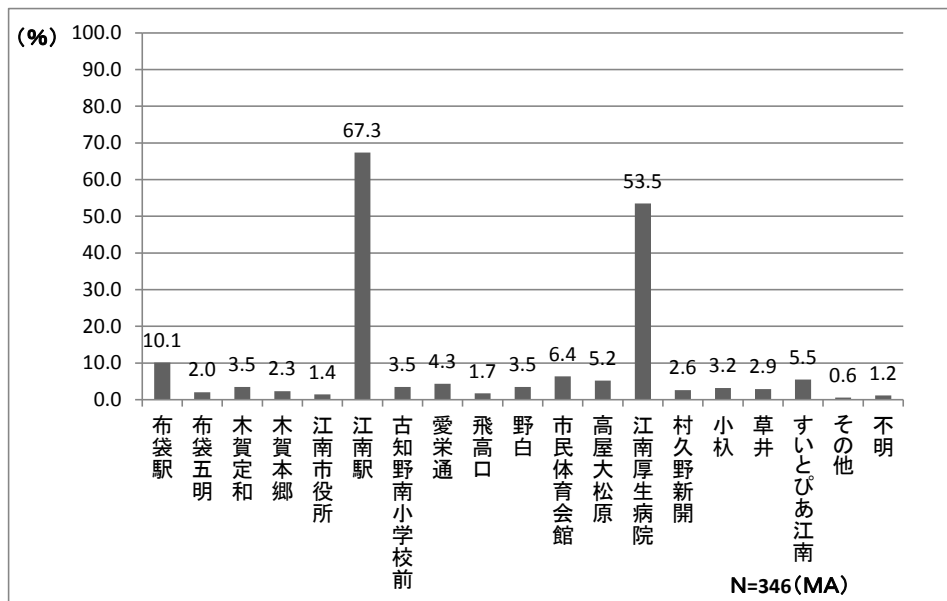
- ・会社員が34.7%と最も多く、次いで、無職15.9%となっている。



(2) 利用状況 (問1)

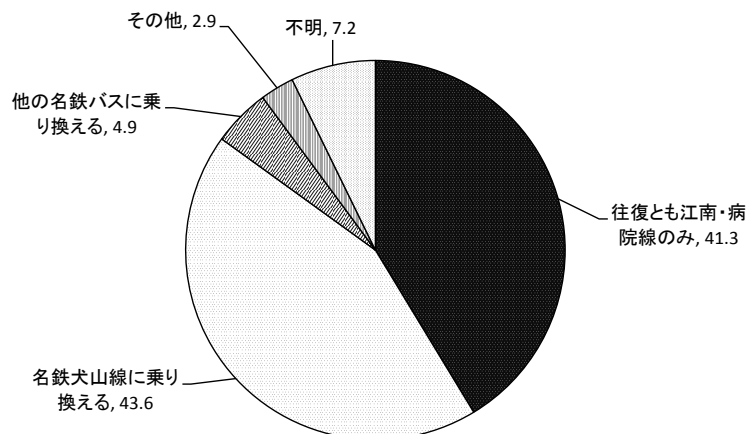
○利用バス停

・江南駅が 67.3%、江南厚生病院が 53.5%と多い。



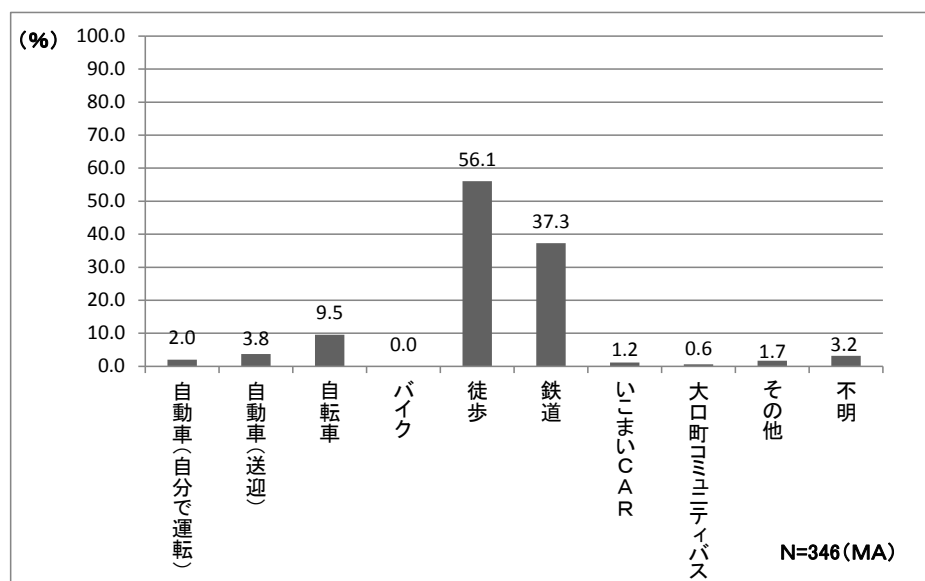
○乗継状況

・名鉄バス「江南・病院線」のみの利用が 41.3%、名鉄犬山線への乗り継ぎ・その他名鉄バスへの乗り継ぎ利用が合わせて 48.5%となっており、乗り継ぎ利用の方が多い。



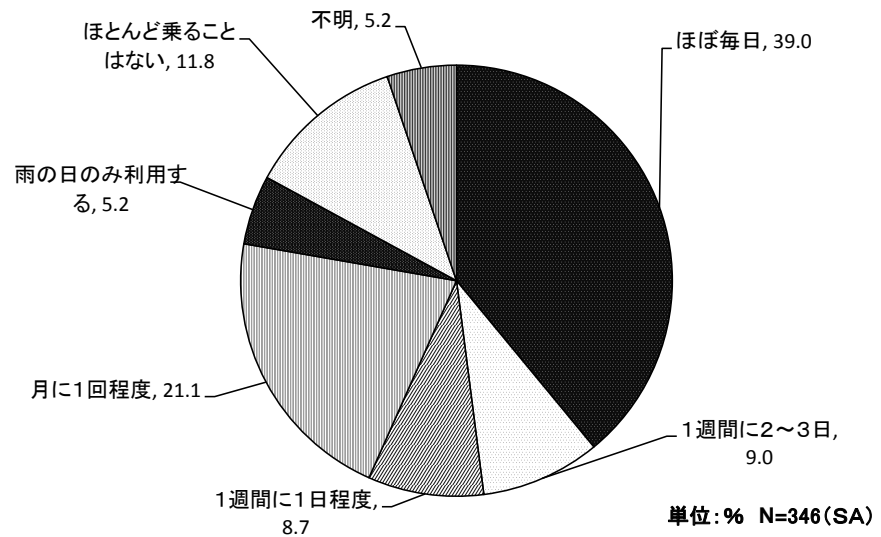
○前後の移動手段

・徒歩、鉄道利用に次いで、自転車の利用が 9.5%認められる。



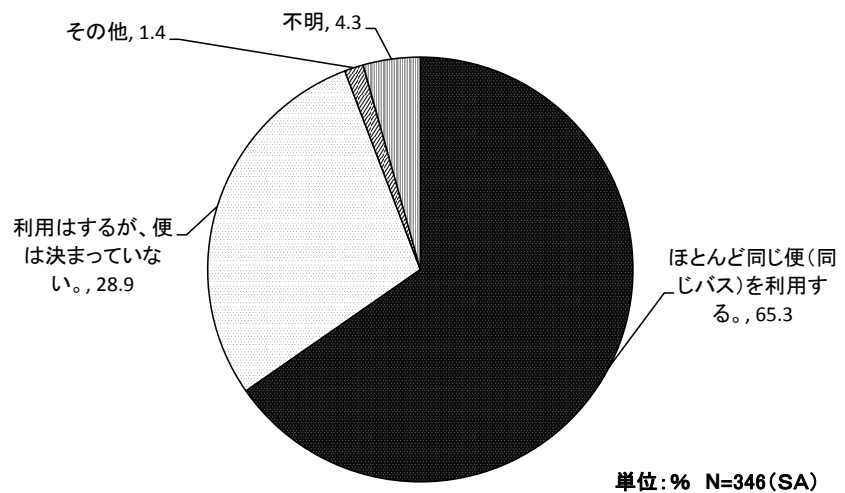
○利用頻度

- ・ほぼ毎日利用が39.0%。次いで、月に1回程度の利用が21.1%となっている。



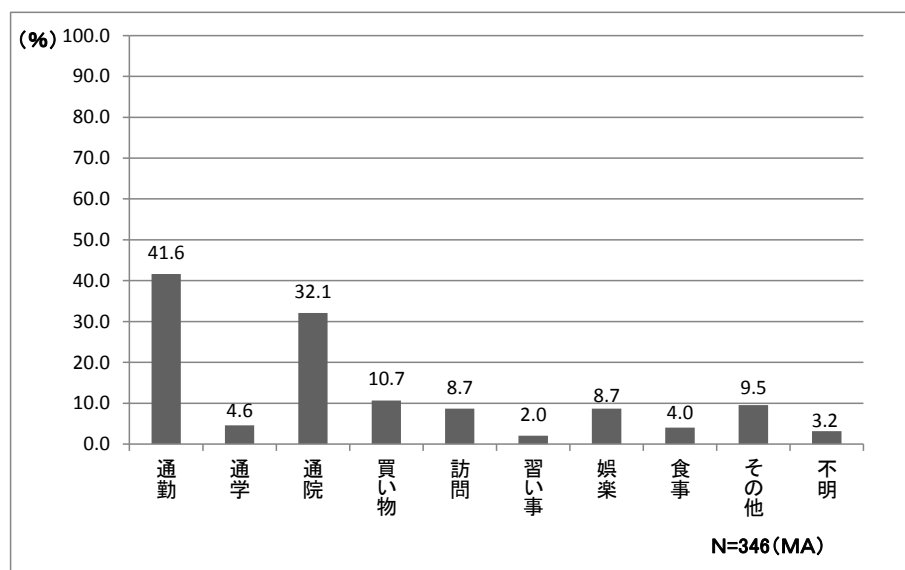
○利用の仕方

- ・通勤、ほぼ毎日利用者が多いことから、同じ便を利用する割合が65.3%となっている。



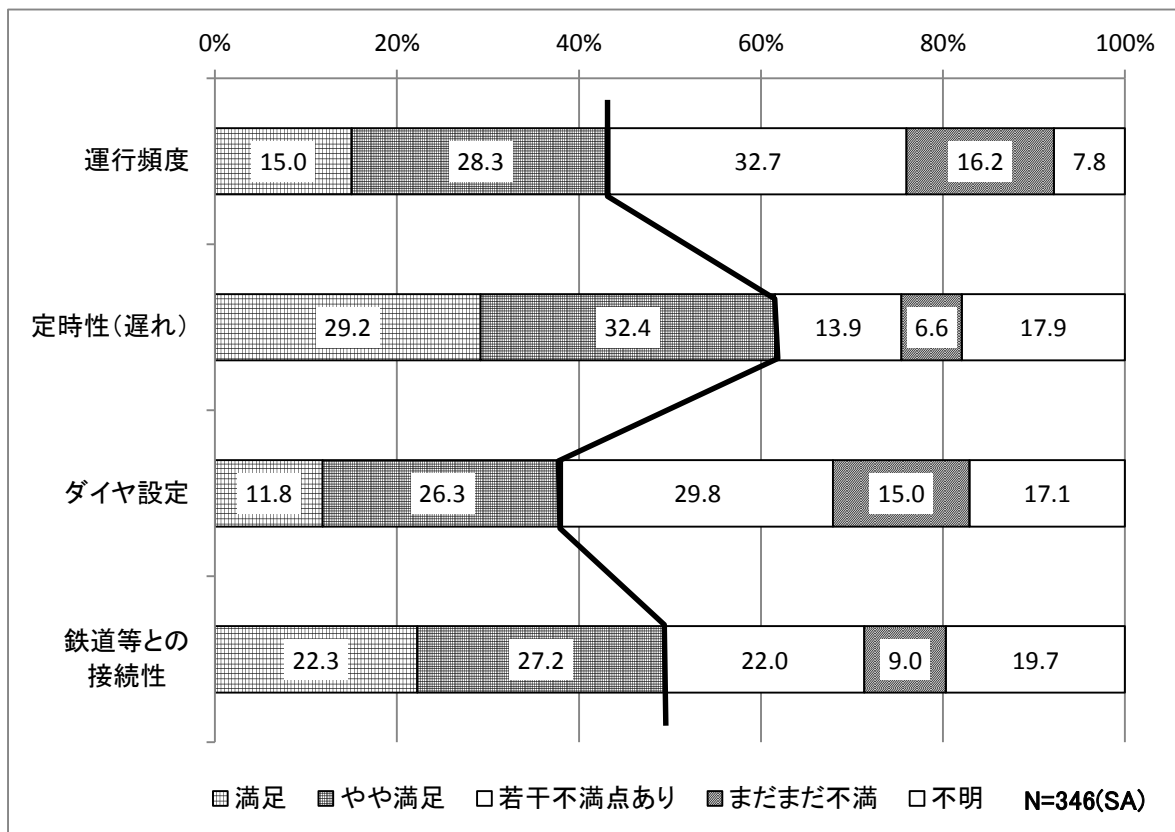
○利用目的

- ・通勤利用が41.6%と最も多く、次いで、通院利用が32.1%となっている。



(3) 満足度 (問2)

- ・運行頻度とダイヤ設定については、満足より不満が上回る。



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・運行頻度、ダイヤ設定 (利用時間) に対する意見が多い。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 本数を増やしてほしい
 - 通勤時間帯の増便
 - 最終便を遅くしてほしい
 - 名鉄の特急電車に合わせたダイヤにしてほしい
 - 時間通りに来ない
 - 江南駅ロータリーが一般車で混雑して、電車に乗り遅れたことがある

(4) 自由意見 (問4)

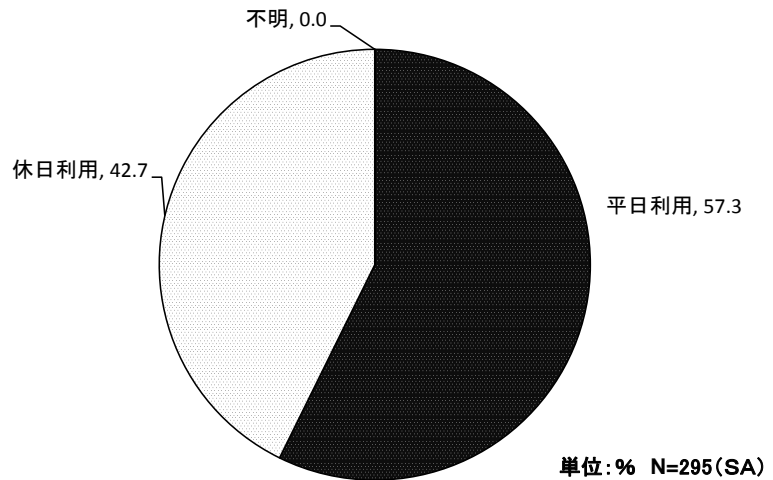
- ・運行頻度、ダイヤ設定、停留所環境等についての指摘が多い。
- ・運行頻度、ダイヤ設定以外の自由意見としては、次の通り。
 - 江南駅のバス停に自家用車が停車している。
 - ドライバーの運転技術に差がある。
 - 発車までエアコンを切るのはやめてほしい。
 - 高校生のマナーが悪い。
 - 運賃が高い。

5. 名鉄バス「江南団地線」の調査結果

(1) 回答者属性

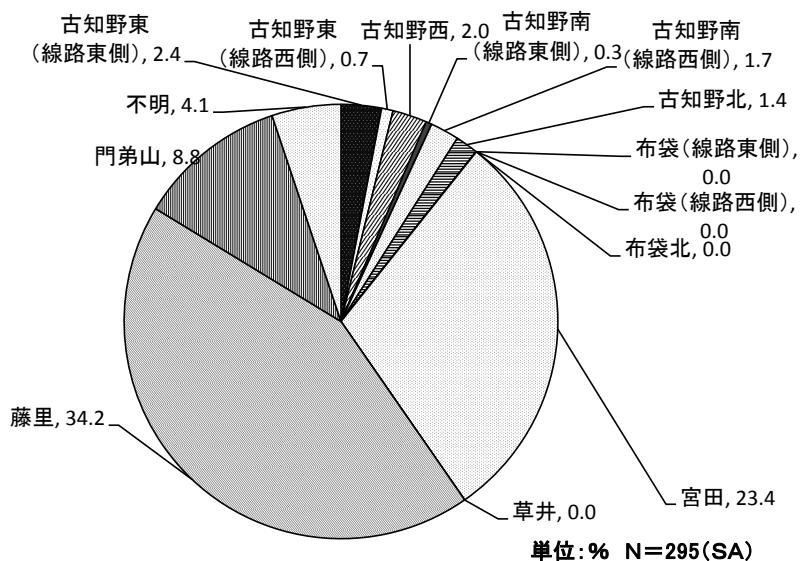
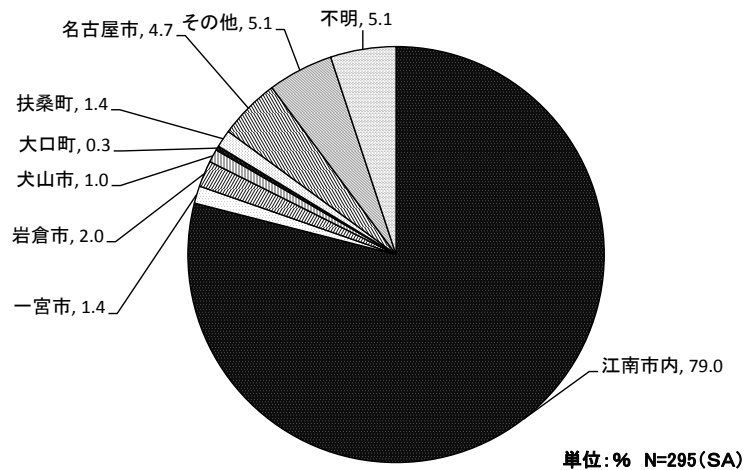
○調査日

- ・平日が 57.3%、休日が 42.7%となっている。
- ・名鉄バス「江南・病院線」より、休日の回答割合が多い。



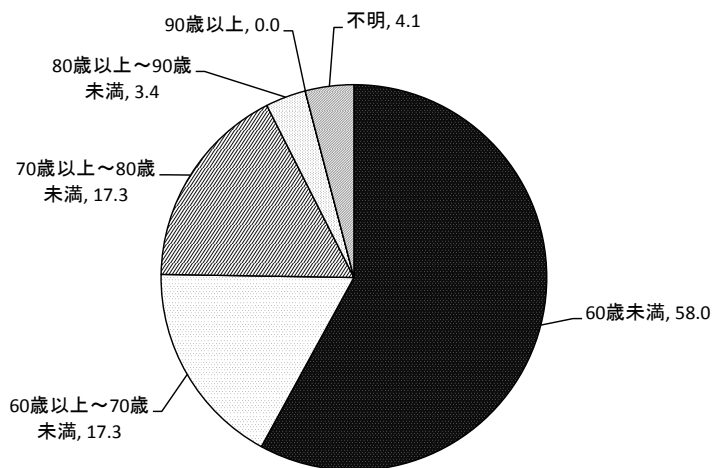
○居住地

- ・江南市内が 79.0%。
次いで、名古屋市が 4.7%となっている。
- ・江南市内では、藤里が 34.2%と最も多く、次いで、宮田が 23.4%となっている。



○年齢

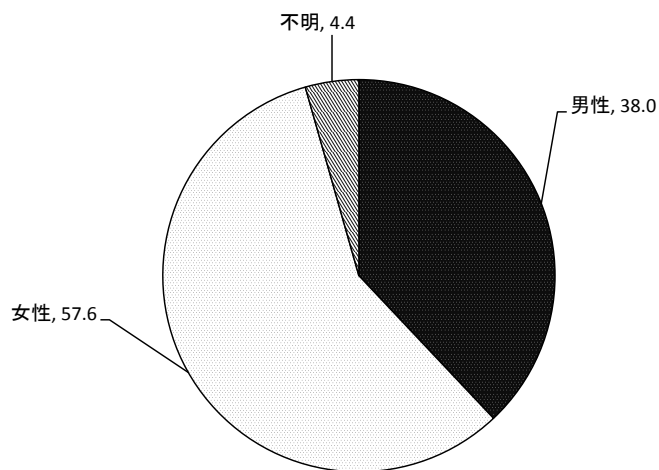
- ・回答者の年齢では、60歳未満が58.0%。
- ・70歳・80歳台の利用は、20.7%となっている。



単位: % N=295(SA)

○性別

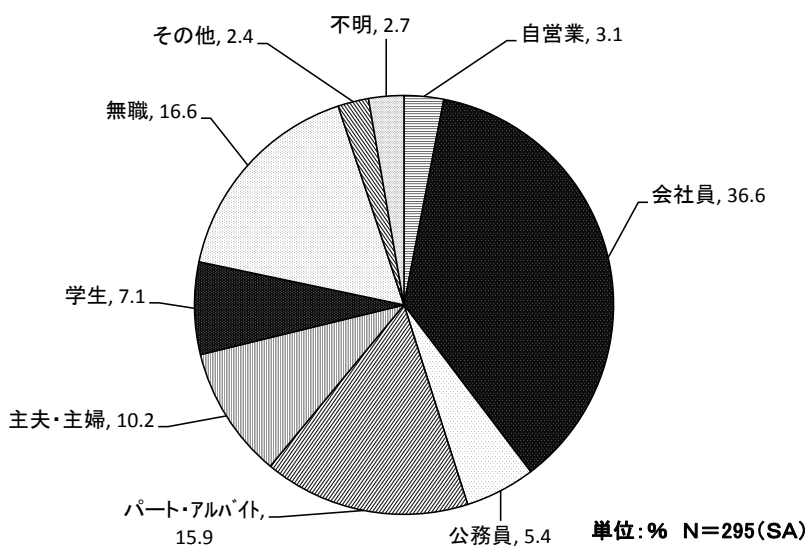
- ・女性が57.6%となっており、女性の利用が多い。



単位: % N=295(SA)

○職業

- ・会社員が36.6%と最も多く、次いで、無職16.6%となっている。

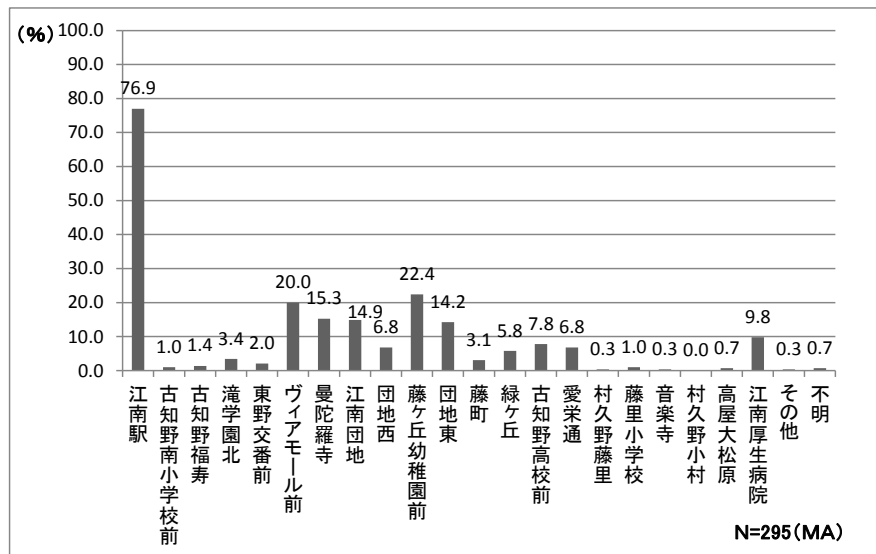


単位: % N=295(SA)

(2) 利用状況 (問1)

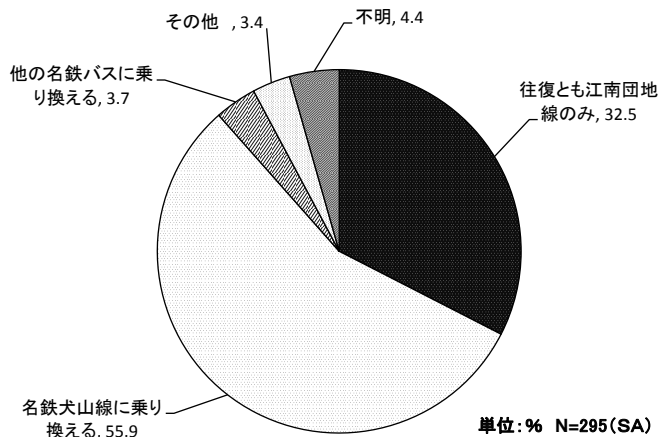
○利用バス停

- ・江南駅が76.9%、江南団地内の藤ヶ丘幼稚園前が22.4%、次いで、ヴィアモール前が20.0%と多い。
- ・江南団地内の中では、団地西が6.8%と最も少ない。



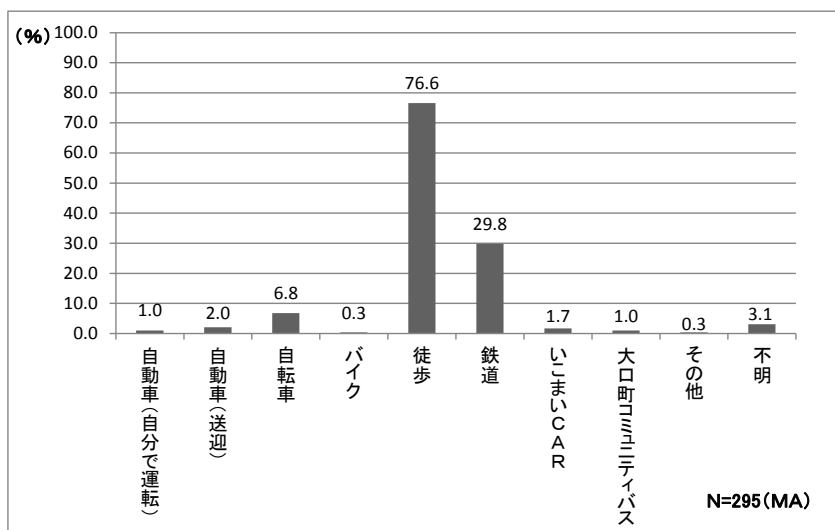
○乗継状況

- ・名鉄バス「江南団地線」のみの利用が32.5%、名鉄犬山線への乗り継ぎ・その他名鉄バスへの乗り継ぎ利用が合わせて59.6%となっており、乗り継ぎ利用の方が多い。



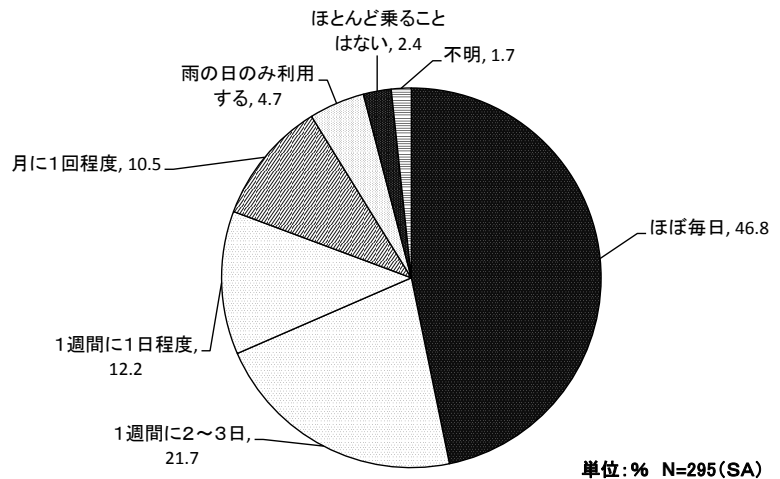
○前後の移動手段

- ・徒歩、鉄道利用に次いで、自転車の利用が6.8%認められる。



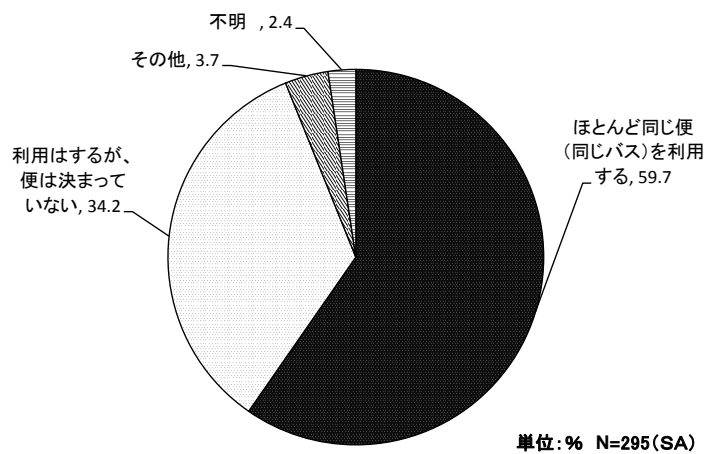
○利用頻度

- ・ほぼ毎日利用が 46.8%。次いで、1週間に 2~3 日の利用が 21.7%となっている。
- ・名鉄バス「江南・病院線」よりも「江南団地線」の方が、利用頻度が多い。



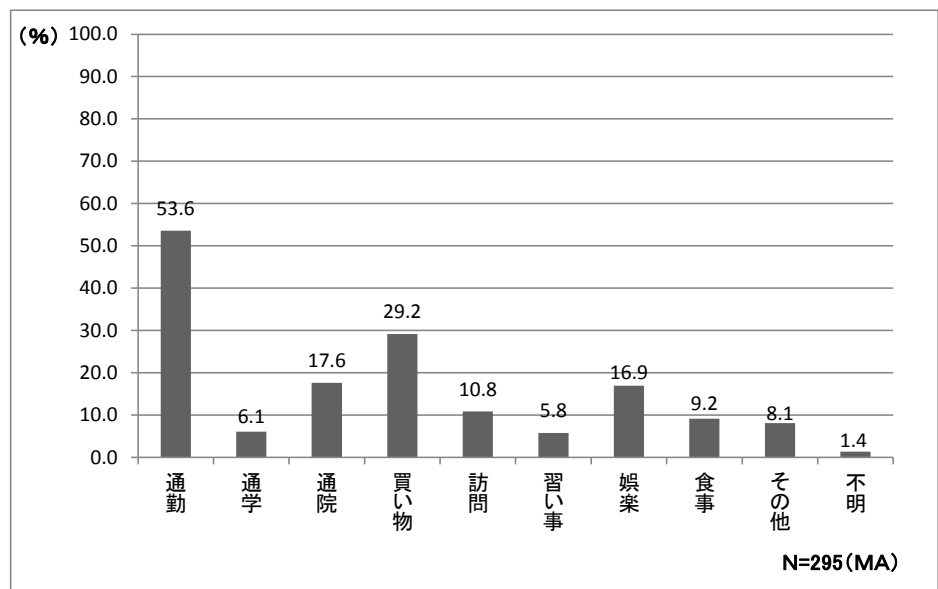
○利用の仕方

- ・通勤、ほぼ毎日利用者が多いことなどから、同じ便を利用する割合が 59.7%となっている。



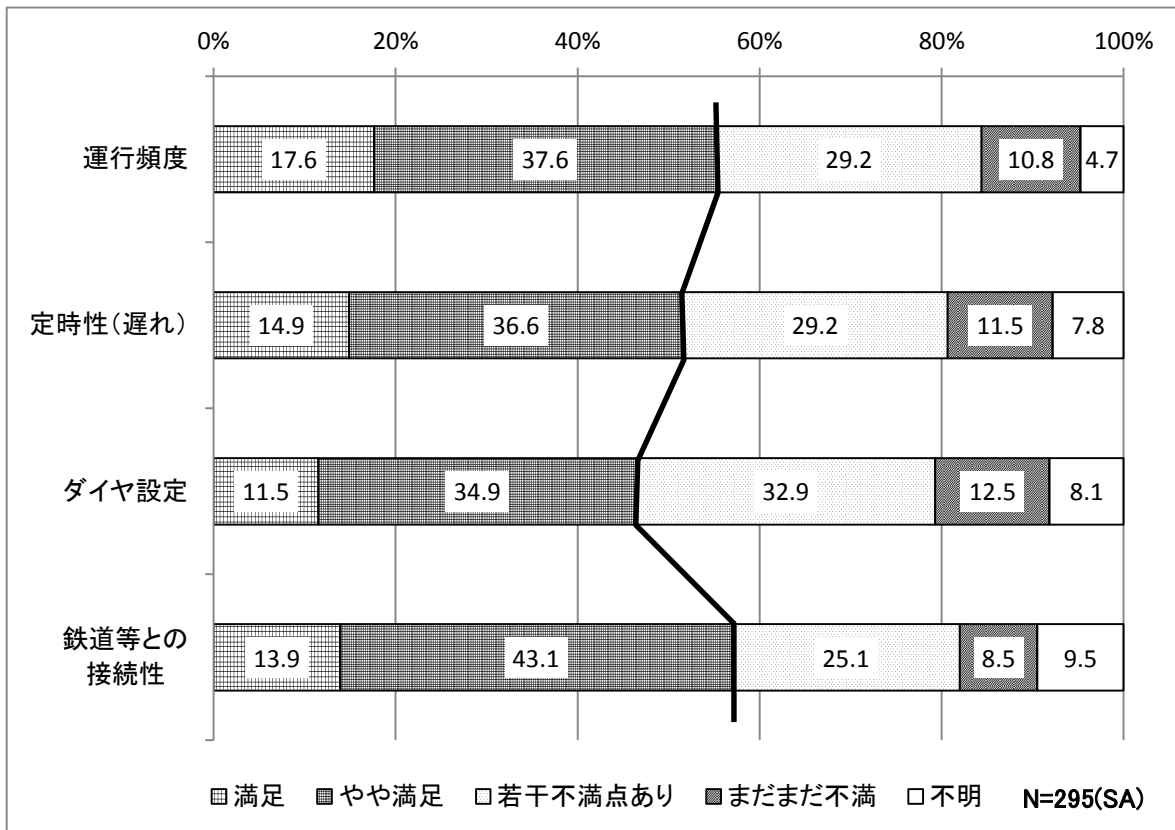
○利用目的

- ・通勤利用が 53.6%と最も多く、次いで、買い物利用が 29.2%、通院利用が 17.6%となっている。



(3) 満足度 (問2)

- ・全項目で、不満より満足が上回る中で、ダイヤ設定が他の項目に比べ、満足度が低い。



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・ダイヤ設定 (利用時間)、定時性 (遅れ)、鉄道等との接続性、運行頻度の全てで意見が指摘された。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 夕方から夜の便が少ない。遅くまでほしい。
 - 朝の便、昼の便を増やしてほしい。
 - 時間通りに来ない。雨の日は遅れる。
 - 鉄道に合わせたダイヤにしてほしい。
 - 本数を増やしてほしい。
 - 運転があらい時がある。

(4) 自由意見 (問4)

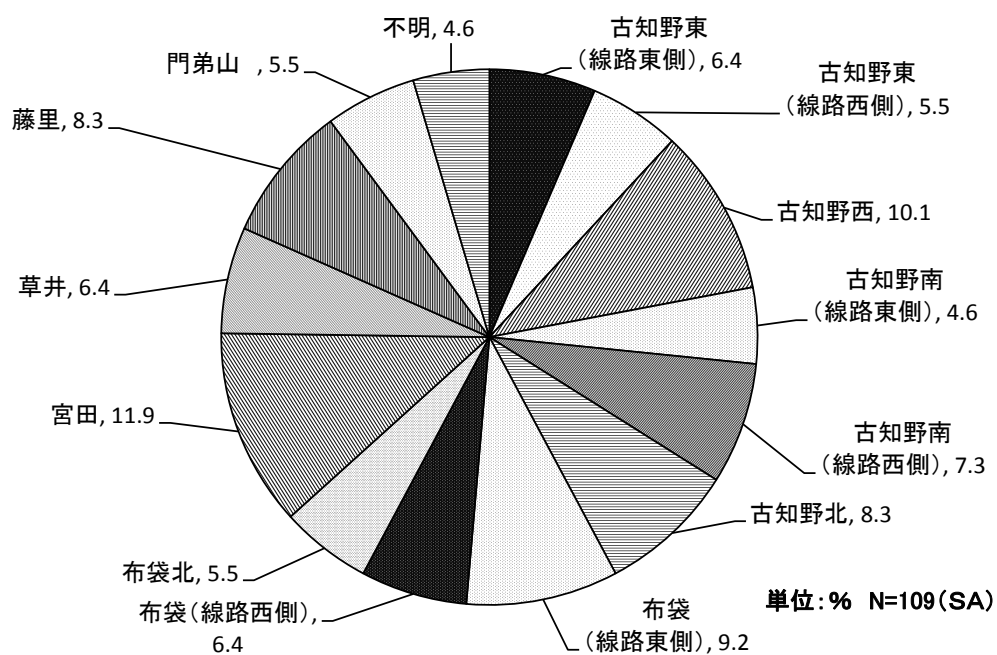
- ・停留所環境、運行頻度、ダイヤ設定等についての指摘が多い。
- ・上記以外に指摘された自由意見としては、次の通り。
 - バス停は禁煙にすべき (マナーが悪い)。
 - 江南駅のロータリーを何とかしてほしい。
 - 藤まつりの時は臨時便を出してほしい。
 - 名鉄バスの携帯サイトが見にくい。鉄道との乗り換えがわかれば便利。
 - 社員教育を充実させてほしい。
 - 発車までエアコンを切るのはやめてほしい。 など

6. いこまい CAR の調査結果

(1) 回答者属性 (問1)

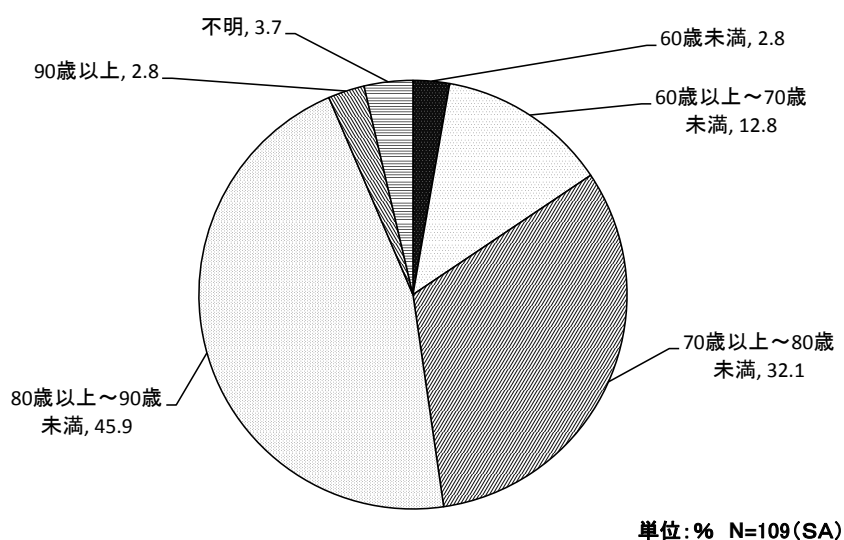
○居住地

- ・構成比として 10%を超えている地域は、古知野西 (10.1%)、宮田 (11.9%) の2地区となった。



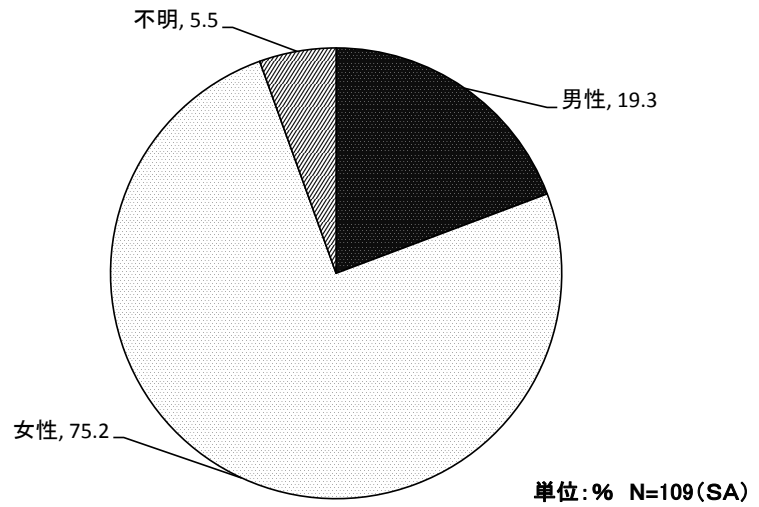
○年齢

- ・回答者の年齢では、60歳未満が 2.8%。
- ・80歳台の利用が 45.9%と最も多く、次いで 70歳台の利用が 32.1%となっている。



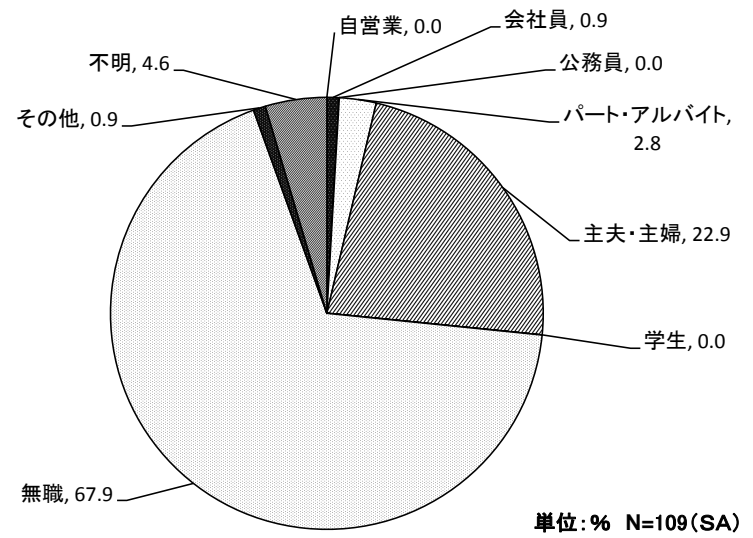
○性別

・女性が75.2%となっており、女性の利用が多い。



○職業

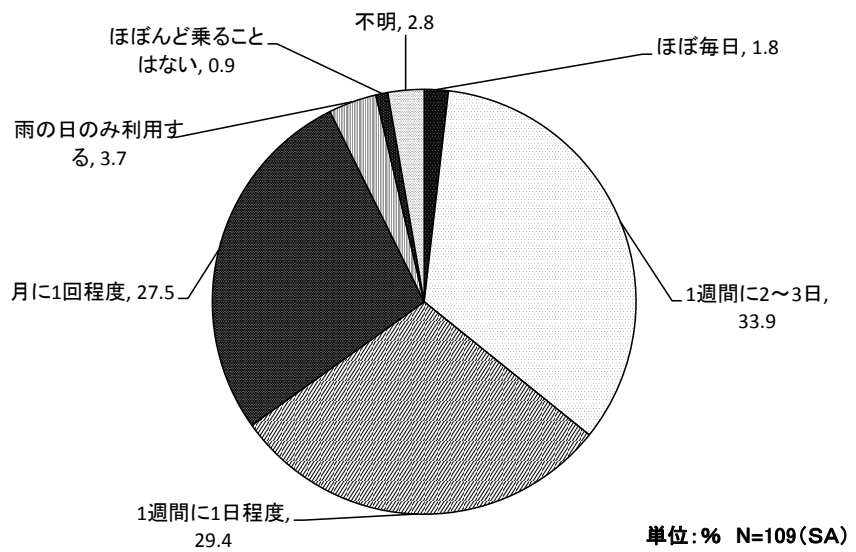
・無職が67.9%と最も多く、次いで、主夫・主婦が22.9%となっている。



(2) 利用状況 (問2)

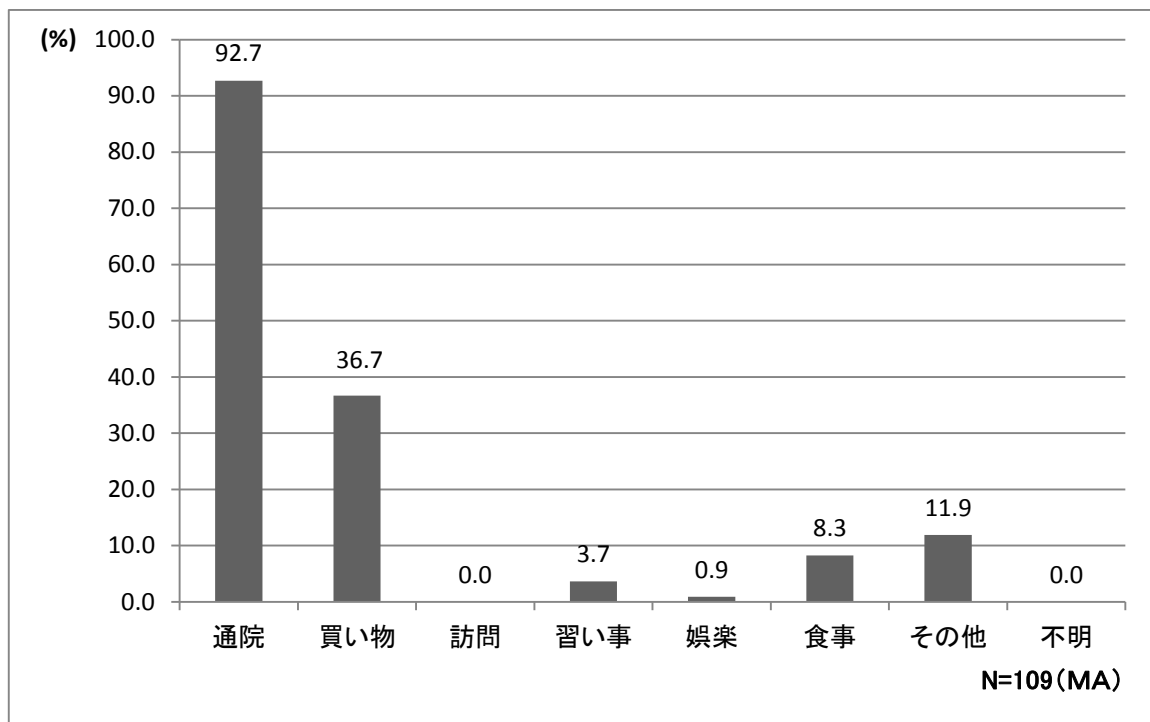
○利用頻度

- ・ 1週間に2～3日の利用が33.9%と最も多く、次いで、1週間に1日程度の利用が29.4%、月に1回程度が27.5%となっている。



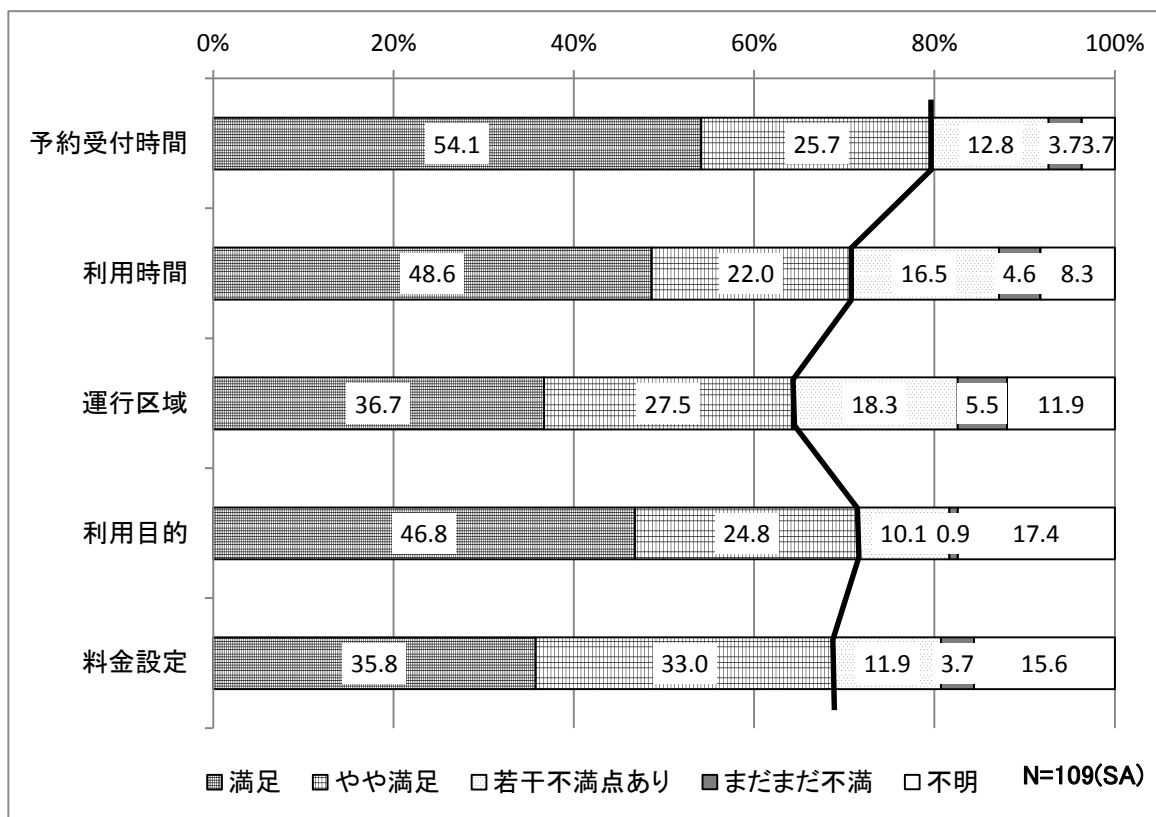
○利用目的

- ・ 通院が92.7%と最も多く、次いで、買い物利用が36.7%となっている。



(3) 満足度 (問3)

- ・全項目で、不満より満足が上回る中で、運行区域（市外利用等）、料金設定等の満足度が他の項目に比べ低い。



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・主な意見としては、次の通り。
 - 予約時間は、当日予約にしてほしい。
 - 利用時間は、遅くまで伸ばしてほしい。
 - 運行区域は、市外利用できるようにしてほしい。
 - 料金設定は、安くしてほしい、迎車料金を無くしてほしい。

(4) 自由意見 (問4)

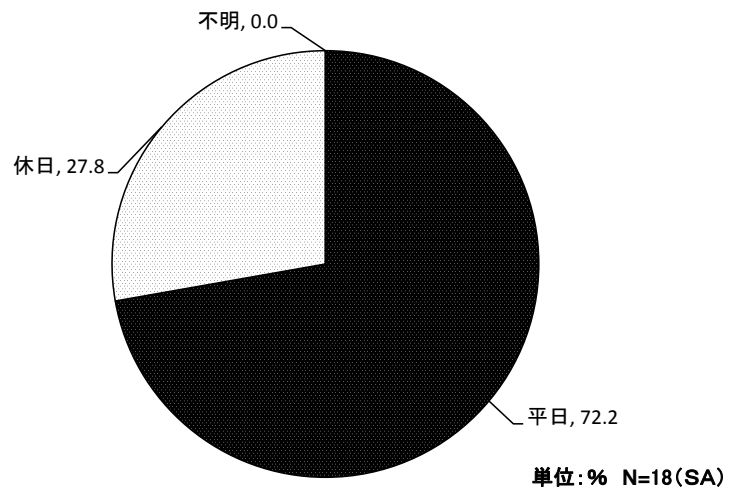
- ・運行区域、予約受付時間、料金設定等についての指摘が多い。
- ・上記以外のその他意見は、次の通り。
 - 荷物があるときは車に入れてもらいたい。
 - 一部のタクシー事業者は評判が悪い。
 - 是非続けてほしい。存続を望む。

7. 大口町コミュニティバスの調査結果

(1) 回答者属性 (問1)

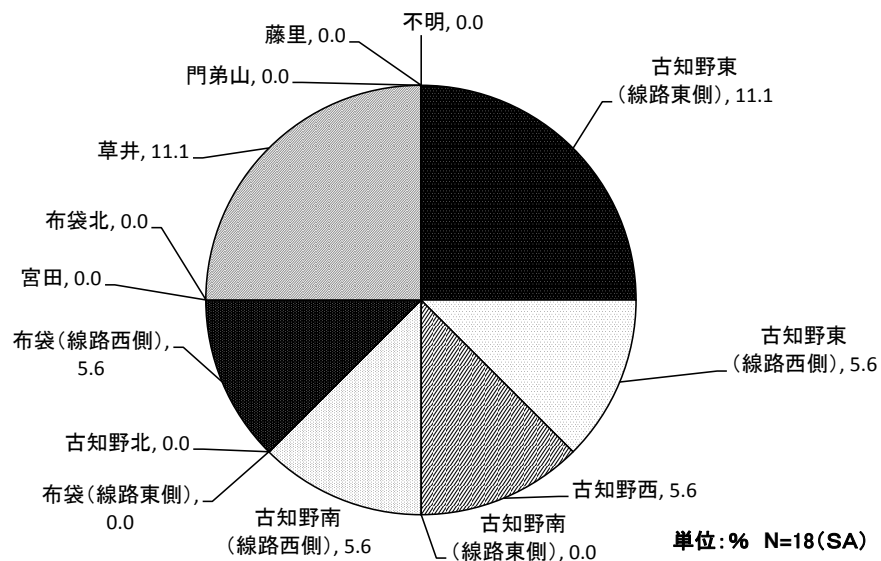
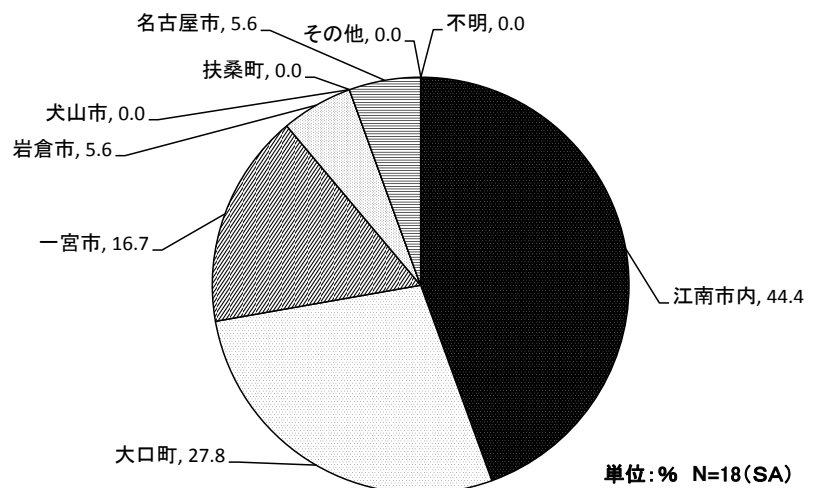
○調査日

- ・平日が 72.2%、休日が 27.8%となっている。



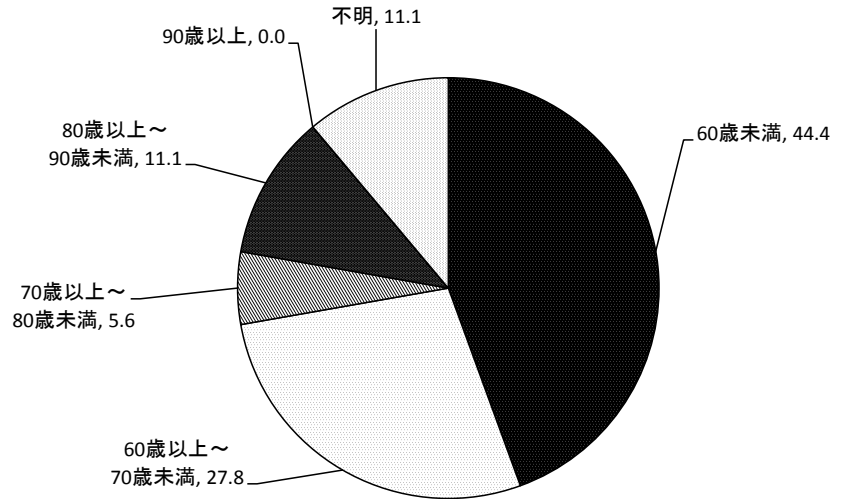
○居住地

- ・江南市内が 44.4%。次いで、大口町が 27.8%となっている。
- ・江南市内では、古知野東、古知野西、古知野南、布袋、草井の利用者が認められた。



○年齢

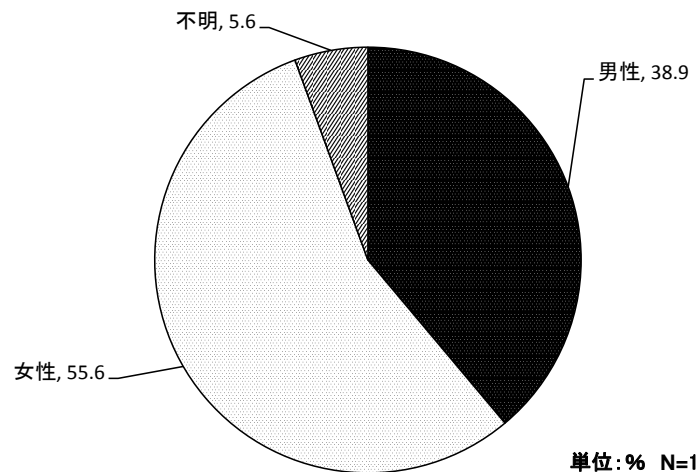
- ・回答者の年齢では、60歳未満が44.4%。
- ・70歳・80歳台の利用は、16.7%となっている。



単位:% N=18(SA)

○性別

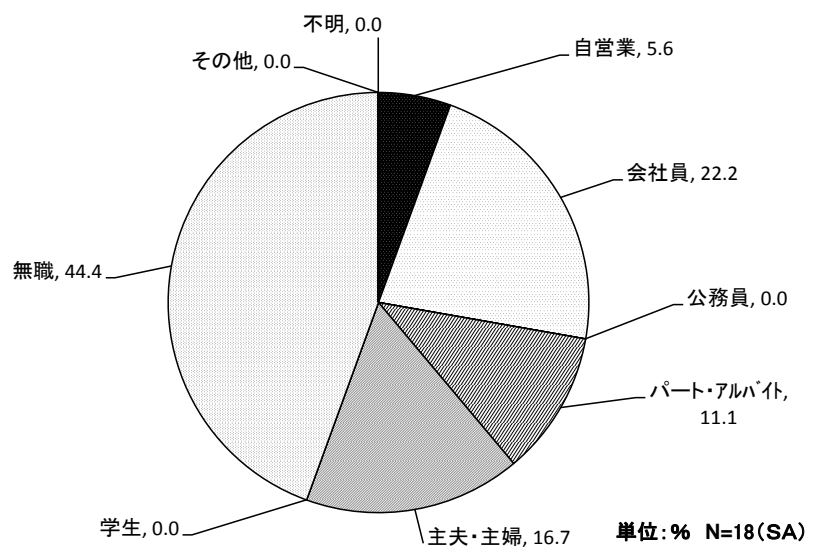
- ・女性が55.6%となっており、女性の利用が多い。



単位:% N=18(SA)

○職業

- ・無職が44.4%と最も多く、次いで、会社員22.2%となっている。

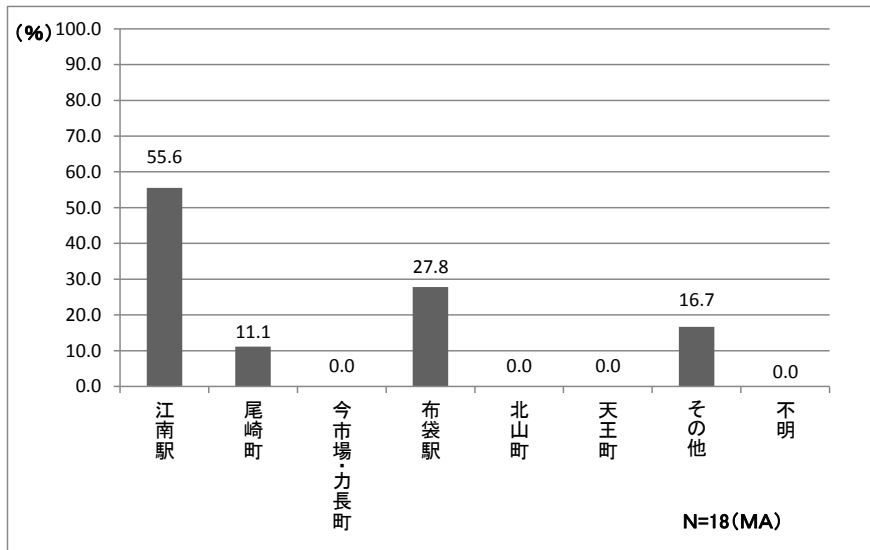


単位:% N=18(SA)

(2) 利用状況 (問2)

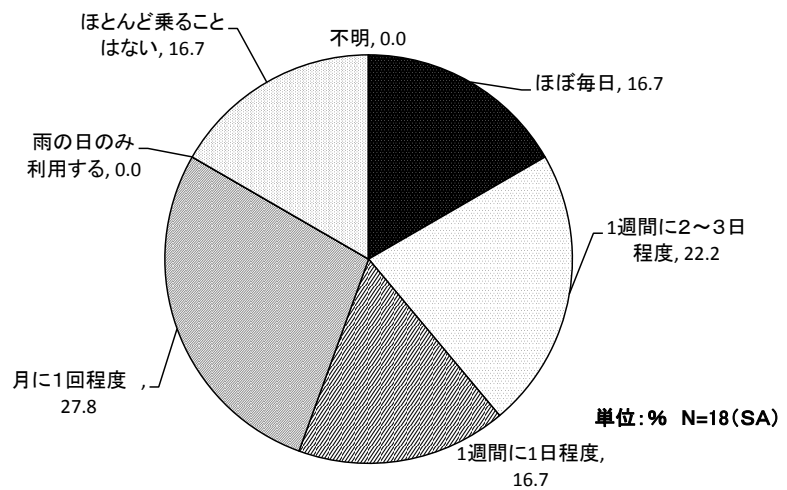
○利用バス停

- ・江南駅が 55.6%、布袋駅が 27.8%と多い。



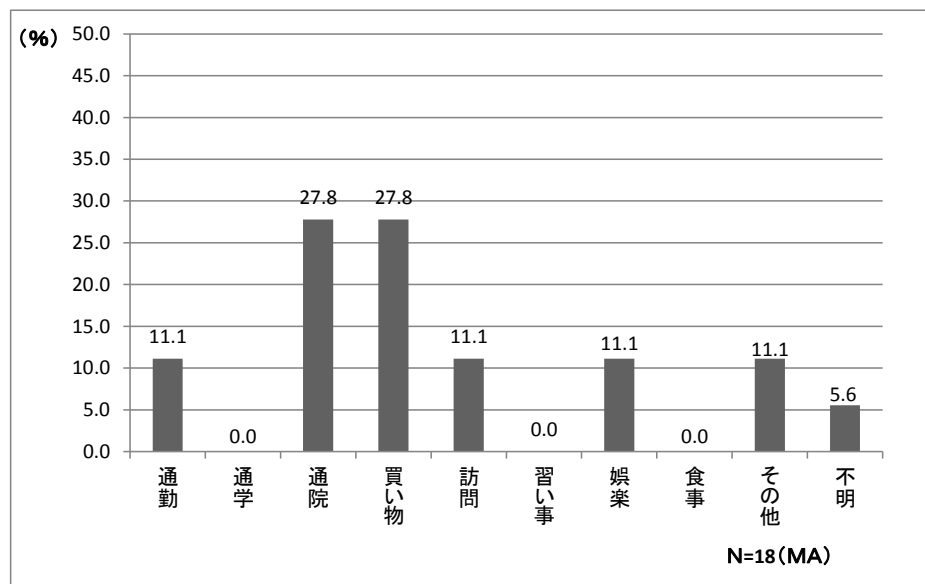
○利用頻度

- ・月に1回程度の利用が 27.8%と最も多く、次いで、1週間に2～3日程度が 22.2%となっている。



○利用目的

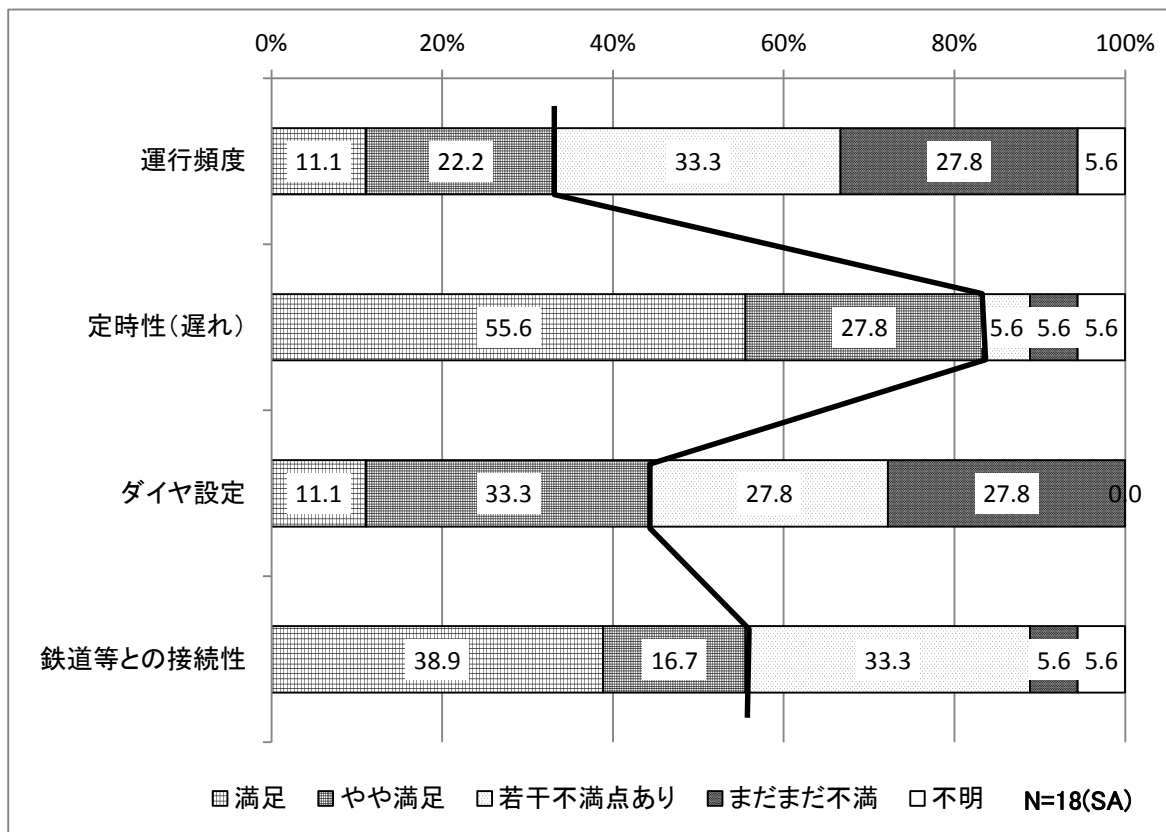
- ・通院利用と買い物利用が 27.8%と同率で多い。



- ・特定施設として多い場所は、「さくら総合病院」「アピタ大口店」「大口福祉会」「ヨシヅヤ大口店」の回答が確認された。

(3) 満足度 (問3)

・運行頻度とダイヤ設定については、満足より不満が上回る。



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・運行頻度に対する意見が多い。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 本数が少ない。
 - 本数を増やしてほしい
 - 時刻がまちまちでわかりにくい。

(4) 自由意見 (問4)

- ・主な自由意見としては、次の通り。
 - 本数が少ない。
 - 往復で 100 円がいい。ほんとはただにしてほしい。
 - 小型バスでも良いのではないか。
 - 土日も夕方以降のバスを走らせてほしい。
 - 運転手が無愛想で運転もあらくこわいのであまり使用していない。

名鉄バス（江南・病院線）の利用者アンケートのご協力のお願い

名鉄バスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. 名鉄バス（江南・病院線）の利用状況についてお伺いします。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。(乗車・降車すべてに○)

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 布袋駅 | 2. 布袋五明 | 3. 木賀定和 | 4. 木賀本郷 |
| 5. 江南市役所 | 6. 江南駅 | 7. 古知野南小学校前 | 8. 愛栄通 |
| 9. 飛高口 | 10. 野白 | 11. 市民体育会館 | 12. 高屋大松原 |
| 13. 江南厚生病院 | 14. 村久野新開 | 15. 小杵 | 16. 草井 |
| 17. すいとびあ江南 | 18. その他 [| |] |

(2) 本日は、「江南・病院線」以外を利用されますか。

1. 往復とも江南・病院線のみ
2. 名鉄犬山線に乗り換える
3. 他の名鉄バスに乗り換える
4. その他 []

(3) 名鉄バスの乗車・降車前後の移動手段を教えてください。

1. 自動車（自分で運転）
2. 自動車（送迎）
3. 自転車
4. バイク
5. 徒歩
6. 鉄道
7. いこまいCAR
8. 大口町コミュニティバス
9. その他 []

(4) 名鉄バス「江南・病院線」を利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 1週間に2～3日程度
3. 1週間に1日程度
4. 月に1回程度
5. 雨の日のみ利用する
6. ほとんど乗ることはない

(5) あなたの名鉄バス「江南・病院線」の利用の仕方を教えてください。

1. ほとんど同じ便（同じバス）を利用する。
2. 利用はするが、便は決まっていない。
3. その他 []

(6) どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 訪問
6. 習い事
7. 娯楽
8. 食事
9. その他 []

裏面に続きます。

問2. 名鉄バス（江南・病院線）の運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。
改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓お住まいの小学校区を教えてください。）

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東側） | 2) 古知野東（線路西側） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東側） | 5) 古知野南（線路西側） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東側） | 8) 布袋（線路西側） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 一宮市 | 3. 岩倉市 | 4. 犬山市 | 5. 大口町 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他〔 〕 |

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

名鉄バス（江南団地線）の利用者アンケートのご協力をお願い

名鉄バスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問 1. 名鉄バス（江南団地線）の利用状況についてお伺いします。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。(乗車・降車すべてに○)

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 江南駅 | 2. 古知野南小学校前 | 3. 古知野福寿 | 4. 滝学園北 |
| 5. 東野交番前 | 6. ヴィアモール前 | 7. 曼陀羅寺 | 8. 江南団地 |
| 9. 団地西 | 10. 藤ヶ丘幼稚園前 | 11. 団地東 | 12. 藤町 |
| 13. 緑ヶ丘 | 14. 古知野高校前 | 15. 愛栄通 | 16. 村久野藤里 |
| 17. 藤里小学校 | 18. 音楽寺 | 19. 村久野小村 | 20. 高屋大松原 |
| 21. 江南厚生病院 | 22. その他 [] | | |

(2) 本日は、「江南団地線」以外を利用されますか。

1. 往復とも江南団地線のみ
2. 名鉄犬山線に乗り換える
3. 他の名鉄バスに乗り換える
4. その他 []

(3) 名鉄バスの乗車・降車前後の移動手段を教えてください。

1. 自動車（自分で運転）
2. 自動車（送迎）
3. 自転車
4. バイク
5. 徒歩
6. 鉄道
7. いこまいCAR
8. 大口町コミュニティバス
9. その他 []

(4) 名鉄バス「江南団地線」を利用される頻度はどれくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 1週間に2～3日程度
3. 1週間に1日程度
4. 月に1回程度
5. 雨の日のみ利用する
6. ほとんど乗ることはない

(5) あなたの名鉄バス「江南団地線」の利用の仕方を教えてください。

1. ほとんど同じ便（同じバス）を利用する。
2. 利用はするが、便は決まっていない。
3. その他 []

(6) どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 訪問
6. 習い事
7. 娯楽
8. 食事
9. その他 []

裏面に続きます。

問2. 名鉄バス（江南団地線）の運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。
改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓お住まいの小学校区を教えてください。）

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東側） | 2) 古知野東（線路西側） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東側） | 5) 古知野南（線路西側） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東側） | 8) 布袋（線路西側） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 一宮市 | 3. 岩倉市 | 4. 犬山市 | 5. 大口町 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他〔 〕 |

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

いこまいCAR(予約便)の利用者アンケートのご協力をお願い

いこまいCARをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

○江南市内 (↓お住まいの小学校区を教えてください。)

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1) 古知野東 (線路東側) | 2) 古知野東 (線路西側) | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南 (線路東側) | 5) 古知野南 (線路西側) | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋 (線路東側) | 8) 布袋 (線路西側) | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|---------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 [] |

問2. いこまいCARの利用状況についてお伺いします。

(1) いこまいCARを利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 1週間に2～3日程度 | 3. 1週間に1日程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. 雨の日のみ利用する | 6. ほとんど乗ることはない |

(2) どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|--------|-------|
| 1. 通院 | 2. 買い物 | 3. 訪問 | 4. 習い事 | 5. 娯楽 |
| 6. 食事 | 7. その他 [] | | | |

裏面に続きます。

問3. いこまいCARのサービス内容についてお伺いします。

(1) 以下の利用制限がありますが、これら制限に対する「評価」を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

項目	解答欄
1) 予約受付時間	予約受付時間は、前日の午前10時～午後7時まで 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
2) 利用時間	利用時間は、午前8時30分～午後5時まで（通院で直接病院から乗車する場合は午後6時） 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
3) 運行区域	運行区域は、江南市内のみ 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
4) 利用目的	通院には利用できますが、通勤・通学・通塾などの定期的利用、業務利用はできません。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
5) 料金設定	一人や友人等との相乗り利用時・・・タクシー運賃の1/2 他の利用客との乗り合い利用時・・・タクシー運賃の1/3 10円未満は切り捨て、最低利用料金は300円。迎車料金は利用者負担。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」、「まだまだ不満」ということについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問4. その他「いこまいCAR」の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

大口町コミュニティバスの利用者アンケートのご協力をお願い

大口町コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内 (↓お住まいの小学校区を教えてください。)

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1) 古知野東 (線路東側) | 2) 古知野東 (線路西側) | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南 (線路東側) | 5) 古知野南 (線路西側) | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋 (線路東側) | 8) 布袋 (線路西側) | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 大口町 | 3. 一宮市 | 4. 岩倉市 | 5. 犬山市 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他〔 |

裏面に続きます。

問2. 大口町コミュニティバスの利用状況についてお伺いします。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。(乗車・降車すべてに○)

1. 江南駅 2. 尾崎町 3. 今市場・力長町
4. 布袋駅 5. 北山町 6. 天王町
7. その他 []

(2) 大口町コミュニティバスを利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日 2. 1週間に2～3日程度 3. 1週間に1日程度
4. 月に1回程度 5. 雨の日のみ利用する 6. ほとんど乗ることはない

(3)-1 どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物 5. 訪問
6. 習い事 7. 娯楽 8. 食事 9. その他 []

(3)-2 目的地の具体的な施設名を可能な範囲で教えてください。

問3. 大口町コミュニティバスの運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性(遅れ)	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
5) 停留所の間隔	1. 満足	2. 不満(もっと狭く増やすべき)	3. その他	

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。
改善すべき点について具体的に教えてください。

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

■ 江南市地域公共交通を語る会の開催結果

1. 開催日時及び出席者数

日時	場所	出席者数
8月20日(土) 18:30～	布袋ふれあい会館	16名
8月21日(日) 14:00～	古知野西公民館	13名
8月25日(木) 18:30～	中央コミュニティ・センター	12名
8月31日(水) 18:30～	宮田地区学習等供用施設	24名
9月2日(金) 18:30～	古知野北部地区学習等供用施設	15名
小計		80名

2. 開催内容

- 江南市の公共交通の現状についての報告
- グループに分かれて意見交換
 - ・自己紹介と公共交通の利用状況の確認
 - ・公共交通の現状報告に対する意見の確認
 - ・今後、どのような対応をすべきかについての意見の確認
- 各グループの意見の発表、確認

3. 開催風景（写真）



4. 主な意見

(1) 名鉄バスに対する主な意見

○サービス水準・利用環境に対する意見

- ・便数が少ない。本数を増やしてほしい。運賃高い。バス停まで遠い。
- ・バス停に屋根がほしい。バス停環境よくない。
- ・最終便を遅くしてほしい。
- ・鉄道、路線バス相互の乗り継ぎをしやすく。
- ・布袋駅の鉄道をバスの接続が悪い。
- ・朝の江南団地から江南厚生病院行きの便数増をしてほしい。江南厚生病院から江南団地に戻る昼の便を増やしてほしい。江南厚生病院への便数が減って不便になった。

○事業改善に対する意見

- ・江南団地から江南厚生病院への利用は少ないのではないか。
- ・江南団地の一周はもったいない。バス停を減らすべき。
- ・江南→一宮方面のルートの見直し（平和堂・滝学園の新たな道路等）。
- ・江南厚生病院からすいとびあ江南は別の手段にした方がよい。
- ・北部エリアは利用しにくい。
- ・フラワーパーク江南に行くバスがない。
- ・車両が大きすぎる。小型バス、ワゴン車ぐらいに小さくすべき。

○補助支援に対する意見

- ・補助金をもっと減らせないか。赤字の多い路線を見直すべき。
- ・補助金投入をやめて、コミュニティバスに切り替えるべき。順次廃止し、コミュニティバスに転換すべき。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・利用者負担、応分の負担を考えるべき。
- ・名鉄バスに頼らず、江南市がマイクロバスで交通網を作るべき。
- ・病院、スーパー、駅等をつなぐ、循環するバスを走らせるべき。

(2) いこまいCARに対する主な意見

○事業に対する意見

- ・なくしてほしい。
- ・高齢者しか利用できない、年齢制限があるとの間違った認識をしている人が多いと思う。

○制度改善に対する意見

- ・予約がネック。前日予約を当日予約にしてほしい。いつでも予約・呼べるようにしてほしい。
- ・運行時間を延長してほしい。希望は朝6時から夜10時まで。
- ・江南市内だけの利用では、生活圏とあっていない。市外利用を認めて欲しい。(柏森駅・商業施設等)

- ・使うかわからないので登録しづらい。自動登録ができるように。

○運賃設定に対する意見

- ・定期便よりも運賃が高くなった。空白地域に住んでいる人にとって運賃が高く使えない。
- ・収入のある人は使い勝手が良いが、余裕のない人には負担が重い。所得での減免。
- ・距離の格差を減らしてほしい。周辺部との格差がある。

○バス事業との関係性に対する意見

- ・名鉄バスといこまい CAR の二重投資になっている。いこまい CAR はバスへの乗り継ぎ利用にすべき。
- ・いこまい CAR がバスの利用を減らしている（妨害）。
- ・予約便の利用が多い区間を定期便にすべき。巡回バスにする。

○制度設計等に対する意見

- ・福祉タクシー料金助成との役割分担について再検討すべき。年齢制限すべき（70 歳以上など）。
- ・利用の目的を病院等に制限すべき。目的と緊急性に応じて分類すべき。
- ・制度を再構築する必要がある。
- ・事業運営を第三セクター（個人）等に移してもよいのではないか。

（3）福祉タクシー料金助成制度に対する意見

○制度設計等に対する意見

- ・48 枚では少なすぎる。
- ・対象者の枠の拡大。
- ・対象年齢（85 歳）を弱者の実年齢に引き下げるべき。（75、80 歳など）
- ・不適切な利用がある（旅行、パチンコ、飲酒時など）

○事業費等に対する意見

- ・高福祉要求により市の財政赤字拡大。既得権にメスを入れるべき。
- ・福祉有償ボランティア輸送を検討すべき。

（4）大口町コミュニティバスに対する意見

- ・便数が少ない。
- ・生活圏を考えると、江南・大口・扶桑で一緒に対応すべき。
- ・バス停に屋根がほしい。暑いし寒い。

(5) 交通空白についての意見

- ・空白地がないというのはおかしい。宮田、飛保、鹿子島、草井、勝佐などは困っている。
- ・駅に出るのに20～30分もかかる場所への配慮をしてほしい。
- ・いこまい CAR は公共交通とは言えない、交通空白地域はある。タクシーがあるから空白がないとは言えない。
- ・空白地を解消することが大事。
- ・空白地居住者にアンケートをしてほしい。
- ・空白地への対応は、いこまい CAR のランク分けをして補助投入する。
- ・安心料として地域からの寄付、受益者負担を。
- ・きめ細かいフォロー、福祉政策で。

(6) 新しいサービスに対する意見

- ・新しいコミュニティバスを導入すべき。
- ・巡回バスの導入。夜の便の確保。
- ・市で独自にバスを走らせるといくらかかるのか教えてほしい。
- ・ボランティアで対応できるのではないか。地域通貨の仕組みと一緒に。
- ・拠点を選択し、ハブ&スポーク^{*1}としてネットワークをつなぐ。
- ・玄関先まで迎えに来てくれるサービスも必要。
- ・江南駅から江南厚生病院までの無料バスを。
- ・スクールバスの活用を。企業の送迎バスの活用。大口町のように企業との連携を。

(7) 駅前整備に対する意見

- ・送迎車両で危ない。
- ・駅周辺の交通規制を行い、混雑緩和を。
- ・駐輪場、駐車場の整備が必要。
- ・駐車場を借りている人用に、公共交通で通勤できるようにしてほしい。

(8) 自転車利用についての意見

- ・自転車で気軽に走れる道路がほしい。
- ・裏道の活用、歩道の整備など。
- ・シェアサイクルがあると便利。
- ・自転車専用道路がない。

(9) 税金投入についての意見

- ・もっと財政投入すべき。
- ・どれくらいまで補助できるか検討すべき。
- ・補助金はもっと減らせないか。コスト削減すべき。
- ・江南市は補助金を出しすぎ。これ以上の投入はだめ。財政負担の歯止めがない。
- ・財政投入のキャップ（上限枠）を決めるべき。
- ・受益者負担にすべき。
- ・企業バスの活用、連携方法の検討を行うべき。大口町のように広告・企業スポンサーを。
- ・市長の退職金など、人件費高い。江南市は貧乏ではない。
- ・財政を豊かにすることが先決。福祉にお金がかかるのは当然。大きな財政計画を。
- ・財政負担、利用状況からみると年々増加しており今後は心配。

(10) その他全体に対する意見

○評価

- ・公共交通は大変充実していると思う。

○情報提供について

- ・公共交通について十分理解できていなかった。
- ・もっとPRすべき。情報提供すべき。
- ・こうした会合が多くあればよいと思う。市職員が資料説明、進行すべき。
- ・市議会議員、区長が住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。
- ・市の現状報告までなので、市の考えを聞きたい。

○将来不安に対する意見

- ・将来が不安。

○その他の意見

- ・使いたい人の掘り起しが必要。
- ・個人の意見を聞いても使わなければ意味がない。
- ・サポートする人が必要。民生委員の活用。ボランティア輸送、元気な人が他人を乗せる仕組みの検討。
- ・行政サービスの選択と集中が必要。

注釈

※1 ハブ&スポーク…交通の中心となる拠点を自転車の車輪の中心にある車軸（ハブ）、そこから各方面に向かっていく路線を車軸から延びる鉄の棒（スポーク）になぞらえて、バスを同時刻に中心地（ハブ）に集め、乗り換えが完了したら、一斉に各方面へ発車させる方法

■資料編：「各回の成果」

(1) 8月20日(土) 布袋ふれあい会館
(Aグループ) 現状報告に対する意見

いこまいCAR

- ・当初の相乗りいこまいCAR制度を再度構築する必要あり。
- ・相乗りできる制度にするべき。
- ・いこまいCARの予約がネックになっている。当日急に利用したい時に利用できない。
- ・いこまいCARが今も引き続き利用できていることが知られてなかった。障害者福祉タクシーも利用できることが知られてなかった。
- ・今後高齢者が増える傾向等の観点から今以上の税金等を増やして充実させていただきたい。

名鉄バス

- ・布袋駅まで行かないとバスに乗れないが駅へ行く方法を考えると利用できない。
- ・江南市も大口町みたいなコミュニティバスのような方法もあるんじゃないかな？名鉄バスの名より江南市バスみたいに名前をかえてみたら市民が利用しやすいのでは？
- ・バス乗車率の数値のデータ→区間ごとに。
- ・中奈良町本郷地区はバス停までが遠いため名鉄バスを利用しにくい。(公共交通のカバー外)
- ・バス利用者(いこまいCAR)利用者のうち厚生病院、買物利用者の人数のデータが欲しい。
- ・半径300mでアクセスできるように。

他市町の状況は？

- ・利用者と費用(個人、行政)
- ・小牧市、岩倉市、他市のコミュニティバスの状況

公共交通を知らなかった

- ・公共交通が約8万人(80%)カバーできていると伺い正直驚いた。
- ・いこまいCARを利用したことがなかったのに登録者が多いのに驚いた。
- ・いこまいCARについて具体的利用方法等十分周知されていないと思われる。

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

いこまいCAR

- ・当日予約ができると良い。利用時間帯の拡大。
- ・他市より良い方法になっているのか知りたい。良かったらもっと市民にわかる様にしてほしい。
- ・本当に必要な人にサービスを提供する。
- ・希望朝6:00～夜10:00
- ・乗合での利用率が増やせるような方法を検討すべきこれにより利用料金を引き下げ。
- ・相乗り制度の構築。
- ・目的と緊急性に応じて分類するべき。
- ・予約をなくしタクシー同様とすれば利用者が増える。
- ・何かしらの制限があってもいいのでは(年齢等)

名鉄バス

- ・全ての地域でバス停までの距離を500メートルくらいにできるとよい。
- ・バスの車両を小さくして頻度を増やす。
- ・バスの本数が少ない→多くしてほしい。利用しにくい→利用しやすくしてほしい。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・もっと大勢乗る工夫をしてほしい。

公共交通の要望

- ・公共交通のカバーされない地域に対して何らかの対策を考えてほしい。
- ・市内特定交通弱者への特定サービスの検討。
- ・高齢者社会になった時病院、買い物へ行く足が必要。運賃を安くして利用しやすくしてほしい。
- ・自分又は家族で車が使用できない高齢者、障害者に対しきめ細かい対応をすべき。(ターゲットを明確に)

更なる分析希望→市民への公表

- ・いこまいCARと名鉄バスで江南市全部カバーをしているがそれで良いのか。一本化したコミュニティバスを作ったらよいか？財政補助金が少なくならないか？6千万円の補助は多くないか？
- ・福祉車両の昼間の別用途利用(法制度は？)
- ・デイスサービス等福祉施設は福祉車両等を保有しているが朝、夕方以外は車が遊んでいると思われる。市と連携して有効活用ができないか。
- ・検討の為に他市町村(同スケール→人口、面積)の事例を示してほしい。(コミュニティバス等)

(B グループ) 現状報告に対する意見

アンケート

・H25アンケートで税金の投入が少ない方が良いと意見が多い。利用しやすい制度ができれば税金の投入もよいと思われるが。
・みんなで使えれば投入できれば。

空白

・いこまいCAR→高い
・電車、バス、いこまいCARで市民の足が確保されていると言われましたがいこまいCARは使いにくく高額であり利用できない。確保されていると判断するのはおかしい。
・空白地域に住んでいる。年数回酒屋の懇親会には春明(一宮市)のバス停から乗車。

スポンサー

・企業スポンサー(大口町)
・広告等スポンサーをつける。「さくらバス」のようにバス停に名前をつける。

いこまいCAR・使用方法

・タクシー、いこまいCARの使い分けができない。
・いこまいCAR(予約便)について、高齢者タクシー助成と思っていた。高齢者のみと思っていた。
・高齢者タクシー48枚は二人で利用すれば98回利用できるものですか？

いこまいCAR価格

・公共交通のカバー状況78,531人。残りの人に対するカバーをどうするのか。いこまいCARだよりは限界があり使いにくい。高額のため。
・いこまいCAR生活圏にあっていない。市内のみ。

外側不便

・ピンクの外側不便

駅東

・名鉄路線より東側は名鉄バスが走っていない。
・大口町のバス便数が少ない。

赤字の基準

・名鉄バスの補助金について、予約便とほぼ同額である。名鉄への補助金の基準は？

将来不安

・今は車に乗っているが高齢で車にのれなくなった時が不安。
・将来不安

市内のみ

・いこまいCAR生活圏にあっていない。

方法の工夫を

・夜の巡回バス。飲み帰り対策
・巡回バス
・バスを小型化して、細かい路線にしてほしい。

利用者について

・利用状況からみると年々増加しているので今後の対応が心配。

いこまいCAR増えるほど赤字

若い世代が利用しやすい様に出来れば(高校生)

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

高齢者の外出支援

・高齢者を外出させる。
・老人クラブ活動を考える。
・病院へ行けるのは元気な証拠との意見さえ聞きますが老人会等の活用により病院へ行く回数を減らす事も一方法かと思えます。

買物サービス

・買物難民(車を利用できない人)と言われる人も多いと思いますので商店に定期便を運行してもらおう市が工夫すべき事があればと思います。
・商店まわる。

ボランティアでやれる

・ボランティアでやれるのでは？
・地域通貨のような券で近所の人に乗せてあげる。

方法を工夫

・とにかく利用者数を増やす。
・小型バス、コミュニティバス、イメージも良い気がする。
・かわいいイメージ。
・大型は無駄。

サービス。

便数。

巡回バスについて
名鉄以外の会社が事業者としてできるか。

市長に考えてほしい。

名鉄バス→コミバス化

・今の投入額をコミバスに振り替える。
・名鉄バスやめても。
・駅から、スーパーから、病院から自宅近く300メートル以内のバス停、コミュニティバスを走らせる。費用は名鉄バス補助金といこまいCAR補助金とバス利用料金。不足する分は市がもっと補助する。どのくらい必要か検討する。いかが。

投入の上限額を決める

・キャップ
・上限額は議会で決めて。
・市負担金の上限を定めることが必要ではないか。

大口町と一緒に

・生活圏。
・いこまいCARは各地域の生活圏が違うため市外利用でも走行距離を決めて利用することができないか。
・歩み寄り。
・江南-大口一緒にやれない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

バス

- ・布袋駅発のヘッドダイヤがバスと乗り継げない。
- ・待たなければならない。
- ・便数が少ない。
- ・バス到着情報が遅い。

福祉

- ・高齢者福祉タクシー助成(85歳)弱者対象年齢を実情に合わせた対象を考慮。
- ・福祉ボランティアマイカー利用(有料)登録制。

いこまいCAR

- ・いこまいCAR予約を現在の利用の前日までの予約から当日の予約に出来るようにしてもらいたい。
- ・予約便を使うかわからないので登録しづらい。
- ・定期便の時より予約便の負担増。
- ・定期便の時の方が利用者負担が少なかった。
- ・いこまいCAR利用者登録今わかりました。

その他

- ・企業バスの連携検討
- ・公共交通について十分理解できていませんでした。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

バス

- ・乗り継ぎ・名鉄グループ内での
- ・名鉄バスが大きすぎる。乗客数からすればワゴン車くらいでよい。

福祉

- ・制度対象外弱者の拡大。
- ・ボランティアの発掘。
- ・自転車、車に乗れなくなった場合本当に温かい対応を望みます。お金の問題などで今はよくわからない都合あり。

いこまいCAR

- ・予約便で利用が多い区間で定期便化。
- ・いこまいCARの自動登録。
- ・予約便と福祉タクシーの役割分担。

その他

- ・企業と行政の連携。
- ・他の町、他県でもよいがユニークな公共交通の事例があれば教えて欲しい。
- ・新しくコミュニティバスでお願いしたい。

(2) 8月21日(日) 古知野西公民館
(Aグループ) 現状報告に対する意見

駅整備

- ・朝、夜、江南駅前送迎車で危ない。

名鉄バス

ダイヤの延長・接続

- ・江南駅からのバスで帰りの時間が間に合わない。
- ・バスに乗る人が増えるように何か策があるとよい。
- ・犬山方面から電車で帰ってきた時、江南→上奈良バスの時間がぎりぎりすぎる。

便が少ない

- ・江南団地～厚生病院行き(行き8:43発帰り12:23発)に乗り遅れると(行き16:07帰り17:07)ないのでタクシーを利用することになります。みなさん困っています。
- ・厚生病院からの帰りバスが12:23発が午前中最後です。もう1本はだしてください。朝8:43発はまあ満足しています。

ルートの見直し

- ・江南⇄一宮線(大山町経由) 平和堂と滝との間に広い道ができたので、バスの帰り道をこちらに変更は？歩道があり乗り降りも安全だと思う。
- ・江南市内の道のルート見直し。

いこまいCAR

- ・いこまいCARをなくしてほしい。到着時間が長くてほしい。
- ・いこまいCARが便利ですのでなくしてほしい。到着時間を長くしてほしい。
- ・なくすな
- ・いこまいCARの運行区間を市外へも拡張してほしい。(市外最寄駅の方が近い所もある)
- ・15歳～←パチンコ?
- ・いまだにいこまいCARのバス停があると思っている人が多い気がする。市のPR不足?
- ・登録が年配の人しかできないと誤解している人が多い。
- ・年齢についてわかっていない。PR
- ・市内のみ
- ・海外旅行での、駅まで

お金

- ・名鉄タクシー、名鉄バス補助金。乗車状況が少ないのはわかりませんが長く続けようとするのは何がベストなのか?
- ・やりくり

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

今のお金の中で工夫をすべき

名鉄バス

- ・学生はバス利用する←収入UP

団地～病院

- ・補助においては路線を利用している地域の人に特に利用するようPRを!(団地の人)
- ・補助している地域での認知。

いこまいCAR

- ・年齢制限。
- ・名鉄バス、いこまいCAR年齢制限。何歳以上の利用・目的は?色々考えることが大事では。
- ・年間乗る回数を制限する。
- ・利用目的は病院のみ。
- ・利用者の年齢を制限する。
- ・利用条件を年齢&目的で制限する。
- ・年齢を70歳以上にする。

福祉タクシー助成

- ・福祉チケット。
- ・高齢者福祉タクシー助成。85歳を80歳に又は75歳に。

大口バス

- ・大口町との話し合いをすべき。
- ・月48万円今なら可。
- ・大口バスの定期を作って。

(B グループ) 現状報告に対する意見

いこまいCAR

- ・いつでも呼べるように。
- ・非常に便利で大切です。予約よりすぐに乗りたい。
- ・もう少し市民の中に定着させてほしい。
- ・タクシーの当日予約
- ・ほとんど使用してません。
- ・待ち時間が長く感じる時がある。

福祉タクシー

- ・高齢者のタクシー助成年齢の引き下げ。
- ・福祉タクシーの年齢を85歳から80歳に下げたらどうか。
- ・介護専用のタクシー等は今後どう考えているか。
- ・利用するのに年齢が高い。もう少し低くできないか。

コミュニティバス

- ・他の市町にはコミュニティバスがある。時刻表で乗れるバスがあると便利が良い。
- ・幹線道路を中心にした交通機関となっているがもう少し範囲を広げられないか？
- ・実際に動けなくなってから申し出るでは遅い。

名鉄バス

- ・病院でバスの待ち時間長い。
- ・病院—布袋駅バス1時間に2本にして欲しい。
- ・名鉄バスが布袋駅へは1時間に1本というのはどうか。

公共交通全体について

- ・公共交通のカバーを広くしてもらえないか。
- ・私は便利な所に住んでいるので現状維持できたらうれしいです。
- ・駅へでるにも20～30分かかるところへの配慮が必要。
- ・自転車が気楽に走れる道路がほしい。

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

全体的な視点

- ・高齢化、過疎化進む中の対応策必要。

いこまいCAR

- ・臨機応変に対応してもらえると良い。いこまいCARの予約。
- ・運営を第三セクター(個人)等につけてもよいのでは。
- ・タクシー業界との連携。
- ・タクシーの当日予約

利用の促進

- ・公共交通の周知が大切

バス(コミュニティバスを含む)

- ・コミュニティバスのようなもの。(定時)の取り入れ。
- ・コミュバス1日1本でも良いので定時定路線を。
- ・コミュニティバスができてもう少し細かく廻れば良い。
- ・バスが大きい道路を走るのでバス停まで出なければいけない。
- ・マイクロバスにかえてバスの回数を増やしてほしい。バスの小型化、頻度を多くする。

(3) 8月25日(木) 中央コミュニティ・センター
(Aグループ) 現状報告に対する意見

PR

・利用の周知を言っているがこれを維持するのは財政の障害になる。

駅の駐輪場

・駅前の駐輪場、駐車場の整備。Pが少ない。

名鉄バス

・最終便の時間が早い。
・大型バスから小型バスへの変更(効率の悪い路線)
・応分の負担を考える。利用者負担。
・バスの本数が少ない。
・本数が増えれば利用するのでは？
・バスの利用者が少ない(昼間)

団地～病院

・病院線の利用について早朝便も要望したが認められない。
利益分まで含めて赤字補てんしている。
・団地～病院減便の影響は？
・早朝便が欲しいとの声あり。

空白とタクシー

・いこまいCARの発足の時は空白地域があった。
・江南市に公共交通空白地域はないと結論づけられているがいこまいCARは公共交通といえるのか。空白はある。
・タクシーはあるとあってよいか。

いこまいCAR

・前日予約がしにくい。
・いこまいCAR制度の広報必要→知らない。
・老人会などで乗り合いの実施。
・公共交通の主体としてタクシーを利用している自治体はほとんどなくあっても補助的に利用されているだけだ。
・高校生

税投入

・これ以上はNG
・このまま利用人口が増となると補助金の増額となり税投入はこれ以上はダメ。
名鉄6,000万→
3,000万
いこまいCAR3,000万

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

負担の考え

・応分の負担。
・福祉で考える。

名鉄バス

・補助金方法。
・駅ORバス停でいこまいCARを使え！
・すいとびあ赤字をチェック。
・赤字ルートはいこまいCAR定期便に。

ボランティア

・ボランティア輸送。
・小学校区OB活用。
・白タク問題。

拠点まで

・ハブ&スポークと拠点化
・拠点間のバス網

利用していない人の意見を

・議論ができるように。

いこまいCAR

・利用制限すべき
・いこまいCARの利用制限は必須だろう。少なくとも60歳以上～にすべき。
・いこまいCARの利用可能年齢の制限。
・公共交通の代替として考えるならば距離のある人の負担を軽減する方法を考えるべきだ。
・長い距離、高いのでつかえない。
・一律料金とは言わない。距離で補助率の差をつけるとか。距離格差を減らせ。

路線化検討

・路線化考えて。
・いこまいCARの利用状況を分析して多い路線は巡回バスに変化していくと考えていったらどうか。

(B グループ) 現状報告に対する意見

財政負担

- ・財政負担の歯止めがない。
- ・市の財政収入の割に経費が多い。

名鉄バス

- ・定期バスの便数が少なく、不便。
- ・布袋地区から江南市の他の地域へ行くバスがほとんどない。
- ・名鉄バスは、幸いバス停が近いので利用は便利です。バスの到着時刻も正確でした。
- ・利用率が多い。
- ・団地から江南厚生病院への利用者が少ないのではないか。
- ・バス停に屋根がない。

いこまいCAR

- ・高齢者がいる家庭にはいこまいCAR、コミュニティバスが便利。
- ・いこまいCARは大変助かりますので今のまま市民の足になるようこのまま続けてほしい。
- ・運転手がいらない。車がない。助かる。

大口コミュニティバス

- ・便数が少ない。
- ・バス停が暑い、寒い。屋根はあるのか？
- ・大口コミュニティバスの情報があまり知られていない。
- ・大口町コミュニティバスの停留所の位置(布袋駅)が遠い、分かりにくい。

福祉タクシー

- ・タクシー助成の85歳以上を引き下げて欲しい。
- ・11のカバー状況から外れた人の1人暮らしの人が心配だ

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

路線の見直し

- ・路線の見直し。
- ・できるだけ名鉄バスを利用しやすくする。
- ・路線の見直しを。
- ・積極的にバスを利用するよう努力する。
- ・外出する。
- ・人が集まるコミュニティの場が少ない。

- ・補助バス路線のうち利用者が少ない路線については見直しも。(廃止縮小もあり得ることもPR)→いこまいCARへ
- ・赤字路線の見直し。
- ・財政のおさえとして企業との相乗りをする。リンナイ等。
- ・名鉄バスの赤字の多い路線を見直す。

バスが利用できる、
出かけられるように、
コミュニティがある場が必要

財政負担の多い所の見直し

公共交通のPR

- ・バス路線のコース、時刻をPR。
- ・1人暮らしの住民にPR。利用率の向上。
- ・バスを利用しやすいような看板等。
- ・身近な問題です。今日のような場所が多くあればと思います。
- ・便、ルートを分かりやすくPR。
- ・情報提供。
- ・利用データの提示。

使いたい人の掘り起こし
使いやすくするサポート

- ・使いたい人の掘り起こし。
- ・民生委員の活用。
- ・福祉タクシー85歳の制限を緩和する。
- ・タクシーチケットはどうすれば手に入るか。
- ・サポートする人が必要。

(4) 8月31日(水) 宮田地区学習等供用施設

(Aグループ) 現状報告に対する意見

PR

・せっかくバスが通っているのでもっと皆様に利用してもらるように宣伝して下さい。

福祉タクシー

・高齢者障害者福祉タクシー助成の年間48枚は少なすぎる。最低でもこの倍は必要。それ以上は1/2負担。
・使いたい人は回数使う。
・高福祉要求→市政赤字。既得権にメス。
・各助成のチケット。不正利用の問題。

いこまいCAR

・市外に行けるようにすべき。
・7時から19時まで使えるように。
・運賃が高く感じる。高齢者は年金で収入を得るがそれ程多くないため。高い。
・緊急利用できない。
・やはり予約出来るときは良いが急ぎの場合はタクシー以外には不可なので考えていただきたい。
・足が悪くバス停は近いのですが、利用が難しい。将来はいこまいCARかタクシー利用。

名鉄バスについて

・名鉄バスは順次廃止。コミュニティバスへ転換。
・名鉄に頼らず江南市がマイクロバスで地域の交通網を作る。
・利用減は団地線の減便。
・距離に応じて金額が違うとの事。少し料金が高いと思います。
・時々見るが回送で空で走ることがある。せっかく回るのであれば回送を少なく調整ができないか。
・小型化。
・大型バスではなく中型マイクロバスならもっと市民に利用してもらえると思います。
・団地～病院。
・今走行している江南団地線について。
①バス停大松原をピアゴに。江南病院線について
②マイクロバスで良いので一時間に一本ほしい。
③8時前に一本。
・フラワーパークまでバスを延伸するとよい。(すいとびあから)
・小型車7～8人乗り。定期巡回する車導入。新規追加。

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

ボランティア輸送

・地域に人がいるのでは？
・助けあい。
・ファミリーサポート小学校。
・仕組みがない。

お金やりくり

・市長の人件費高い。
・江南市は貧乏ではない。

名鉄バス・努力すべき

・コミバスにして市の補助でやれば。
・名鉄バスより乗ってくれる。
・努力していないので。
・団地～病院、減便したら利用できない。
・バス停の環境が良くない。

コミバスに

(B グループ) 現状報告に対する意見と今後どのような対応をすべきか

福祉タクシー

- ・福祉タクシーの拡充。
85歳高齢者＋健康不良者
- ・高齢者福祉タクシー。
85歳→75歳へ

コミュニティーバスの検討

- ・江南市でバスを独自に走らせるのはいくらかかるのか教えて欲しい。
- ・もし名鉄バスを廃止したら、その3,000万円ほどのくらい走らせられるのかを教えてください。
- ・コミュニティーバスの導入を検討してほしい。(細かく走れるバス)
- ・大口コミュニティーバスでは広告費で一部経費をまかなっている。
- ・大口コミュニティーバスの事例の詳細を教えてください。手法、値段。
- ・公共交通の届いていない地域にはコミュニティーバスを走らせてほしい。

財政

- ・財政を豊かにすることが先決。福祉に金がかかるのは当然のこと。
- ・高齢化してきていて、財政が厳しくなってきたと感じる。
- ・市全体の大きな財政計画を！

共助

- ・元気な人が他の人を乗せてあげられる仕組みの検討を。(共助、制度検討)

本日の説明

- ・交通事情の江南市の説明はよく聞き勉強になりました。※宮田地区の導入がないので不満。
- ・江南市が各班司会進行すべき(コンサルタントではなく)

江南団地線

- ・宮田地域にバス路線ができるように努力してほしい。
- ・江南団地一周はもったいない→バス停4カ所(名鉄バス)
- ・江南駅より松竹→本郷→厚生路線。江南市の北部の利便を。
- ・団地発厚生病院行き8:36発を1本はやくバスを出してほしい。
- ・蘇南公園→江南市宮田総合グラウンドに名称変更。
- ・江南駅から江南団地行き、江南団地経由→宮田行きバス
- ※名鉄バス補助金を増して朝、夕は30分間隔であれば宮田地区の方が喜ばれるが・・・
- ・ヴィアモール・・・1本西側を走らせて松竹、宮田もほしい。2本に1本でも。
- ・江南のフラワーパークに行くバスがない。すいとびあから徒歩30分。検討対象にしてほしい。
- ・集客を増やしてバスもうおい便数も増やせる。

いこまいCAR

- ・ドアツードアで利用できるいこまいCAR(予約便)は充実してほしい。
- ・いこまいCARは廃止しないでほしい。
- ・当日予約を可能にしてほしい。

公共交通のあり方

- ・もっと動きやすい公共交通を。
- ・現在はマイカーで移動している人が多いが近い将来は公共交通に頼らざるを得ない人が増えてくる。公共交通が利用できない利用しにくい範囲が結構多いので考えていかなくてはいけないと思う。
- ・玄関先まで迎えに来てくれるサービスも必要なのでは。
- ・高齢者増に伴ってマイカー→安価な交通網の拡充。玄関口送迎。
- ・現状報告を説明されただけ。市の考えを聞きたい。
- ・赤い500mの円全てが江南駅に行ける訳ではない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

名鉄バス

- ・厚生病院へのバスの便数が減って全く不便。
- ・厚生病院線、最初より本数が減ったので不便。早い時間が欲しい。
- ・一宮線も減ってしまって不便です。
- ・バス停迄500m歩かなくてはいけない。
- ・バス停まで遠い。
- ・江南駅→団地→厚生病院の利用者が少ない。厚生病院との受付の関係か？
- ・バスの料金が安い。
- ・神明から駅までの料金と時間がかかる。自家用車でいったほうが早い。
- ・江南駅⇄江南団地 古知野高校経由、西アピタ経由本数増だと助かる。
- ・アピタ線団地の方の時停留所があぶない。
- ・松竹住宅バス停。

財政負担

- ・名鉄への補助はもっと減らせないか？
- ・市財政から考えればコスト削減すべき。
- ・江南市補助費を出しすぎ。受益者負担にすべき。
- ・税金投入についても工夫して希望をかなえてほしい。

空白地域の考え方

- ・21%の交通空白地を解消することが大事と思う。
- ・交通空白地域がないというのはおかしい。
- ・宮田や後飛保など空白がいっぱい。
- ・空白はないというのは乱暴ではないか。
- ・鹿子島、草井、勝佐の方の人は困っている。

いこまいCAR

- ・時間を朝8時にしてくださいとありがたい。

大口コミュバス

- ・大口町コミュバスの収支は？

その他対策

- ・自家用車をやめなくなる市内状況を！
- ・ほんとに困っている人が増えていくので対策を考えてほしい。
- ・見捨てられて希望がないという地域の方もいる。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

バスの再編(利便性向上)

- ・名鉄バスの補助金をやめても、10人乗りくらいのタウンバスを網の目で走らせる。
- ・自家用車に乗れなくなる年齢になってきます。市内の巡回バスが必要で
- ・公共交通として名鉄バス以外の手段を考えるべき。
- ・名北バスの小型マイクロがいつもあるからそれを使い。
- ・現在投入している財政を基本にタウンバスの運行を検討してほしい。
- ・江南駅から厚生病院迄無料バスは？
- ・巡回バス(小型)できめ細かく回ってもらえたらよいと思います。
- ・名鉄バスを小型バスに切り替える。

その他

- ・市議会議員、区長が住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。
- ・いこまいCARの認知度が低いのもう少しPR方法お願いしたい。
- ・個人の意見を聞いても使わなければ...
- ・この会のもち方。
- ・夜の会合には高齢者は出てこれない。

選択と集中

- ・今後は行政サービスも選択と集中が必要。
- ・空白地域への対応はいこまいCARのランク分けをして補助。
- ・人口減の中、総合的に考えるべき。
- ・免許証返上する人が今後もっとふえてくる。
- ・現在の財政投入は多いとはいええない。
- ・これからの行政サービスを考えれば低減せざるをえない。
- ・空白地域の方は市の負担額多くする。
- ・公共交通再編成事業費は493万円で行えるのか？
- ・いこまいCARを福祉目的に変えて支出を減らす。

空白地域の対応

- ・空白地域21,000人にアンケートをしてほしい。切実な要望をつかんでほしい。
- ・安心料として地域からの寄与を・受益者負担(地域で)

(5) 9月2日(金) 古知野北部地区学習等供用施設
 (Aグループ) 現状報告に対する意見と
 今後どのような対応をすべきか

□:現状に対する意見、○:どのような対応をすべきか (Aグループ) 9/2

駅前
 ・江南駅前に駐車場を借りて通勤している人が多いので公共交通で通勤できるようにしてほしい。

駅前
 ・駅周辺の交通規制。
 ・江南駅付近の通勤通学用バスが増えると今まで以上に混雑する。

いこまいCAR
 ・収入のある人は使い勝手がいいが余裕のない人には負担が重い。
 ・周辺部との格差。
 ・山尻などの市境の人は、使いにくい。
 ・ドアTOドアのタクシーの助成はもっと増加してよいのではないかと予約手続き等が面倒なの？
 ・利用がわからない。面倒でタクシーを呼んでしまう。
 ・登録や予約が無理な高齢者がいる。
 ・予約方法。

いこまいCAR
 ・バスといこまいCARが両立する工夫を。二重投資。いこまいCARはバスの乗り継ぎに。
 ・いこまいCARがバス利用を減らしている。妨害。
 ・いこまいCAR予約便の料金を見直す。距離での差⇄所得での減免。

お金がない中で自転車の活用
 ・タクシーチケット年齢引き下げを図れないか？(80歳)交通事故減少。・裏道をうまく使って自転車道に。・利用者負担を増やす。・自転車の活用。道路をよくする。歩道の整備。車いすも自転車も通行しにくい。

独自のバス
 ・となりの大口や扶桑と共同で、巡回バスなどが走るとよい。議論
 ・65歳以上の者も多いが高齢者がどんどん増えることを考えると江南市独自のコミュニティバスも一方法か？(路線バスではなく)
 ・スクールバスの導入をすべき。

名鉄バス
 ・空バス。
 ・厚生病院からすいとびあ線は別の手段にした方が良いと思う。
 ・江南北部はバスは利用しにくい。通勤に使える名鉄バスに。

名鉄バス
 ・市街地を循環するコミバスを走らせる。
 ・病院・スーパー・駅等をつなぐ。
 ・大口町のように企業(バス)との連携。
 ・県道(犬山江南線や愛岐大橋等)に一日数本(時間を決めて)コミバスを走らせられないか？大口町のように工場送迎バスとの絡みを考えて、学生や主婦も利用できるように。

財政面
 ・貧しい(?)江南市が財政投入頑張っていることは理解できるが市民は知らないのではないか？

PRについて
 ・関心がなかった。
 ・知らなかった。
 ・公共交通ありきの調査。交通空白地居住者の意見が反映されていない。

・広報活動の充実。子供を通じてでも。テーマはバスだけじゃない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

バス

- ・公共交通のバスが無い。
- ・ほとんど使用していない。交通機関がないので。
- ・巡回バスを作ってほしい。
- ・交通空白地居住者も公共交通サービスが提供されているのは疑問。買物は扶桑方面が多い。

その他

- ・公共交通は大変充実していると思う。
- ・車だと駐車料金が高い。

いこまいCAR

- ・いこまいCARの制度を子育て世代にも周知させたほうがいいと思う。
- ・山尻町にはバス路線がなくいこまいCARを市内に限定のため利用できない。買物など扶桑町へ。
- ・いこまいCARでは扶桑町のイオンに行けない。
- ・いこまいCAR(予約便)が使いにくい。

自転車の利用

- ・シェアサイクルがあると便利と思われる。
- ・雨が降ると自転車に乗れない。
- ・自転車専用道路がない。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

担い手

- ・ボランティアなどによる送迎。

エリアバス

- ・路線を決めないバス。エリアで。

シェアサイクル

- ・自転車の乗り捨ても可能になる場所を多くする。
シェアサイクル。

巡回バス

- ・巡回バスとかデマンドバスといった小回りのきく機関に変えていく。
- ・小さいバスで周辺部を回ってほしい。
- ・市の中心及び市外でも近くの駅や病院やスーパーへの交通を確保してほしい。
- ・大口町コミュニティバスが江南駅に乗り入れている。市内の北部は扶桑町とのつながりが強い。江南－扶桑間の巡回バスも考えて欲しい。厚生病院行き的小型バスも。→江南と扶桑町の提携。
- ・いこまいCARありきで進んでいくがますます財政の負担が大きくなっていく。
- ・民間委託で。
- ・小さいバスで細い道も行けるように。
- ・厚生病院へのバス巡回のお願い。大口町さくら病院はやっている。
- ・コースを考えるのは難しい。幹線沿いになる。
- ・5年10年先の交通機関を考えるといこまいCARオンリーではダメ。

(Bグループ) 現状報告に対する意見と今後どのような対応をすべきか

□ 現状に対する意見 [] どのような対応をすべきか (Bグループ) 9/2

いこまいCAR

- ・いこまいCAR利用で高齢者PRを強化する。←意外と皆知らない。+タクシーを使うことへの抵抗感→もったいない。
- ・だれでも使えるのが疑問。

いこまいCAR

- ・高齢者の「遠慮」家に自家用車があっても家族に頼みづらい。だから代替サービスが必要。
- ・高齢者にタクシーが楽だということをPR。
- ・PRの場所。老人クラブの総会、イベント、回覧板、9/7文化会館の作品展。
- ・扶桑町のイオンまではいけるように。制度を変えてほしい。
- ・目的収入制限を設けるべき。
- ・いこまいCARの負担額の軽減をしてほしい。(70歳以上くらいの人に限り)
- ・きめ細かいサービス。ドアtoドア。
- ・本当に必要な人には安く!!
- ・融通の利いた例外を許可すべき→病院、スーパー等。ただし近隣に限る。

バス

- ・利用者が限定される。
- ・名鉄バス(病院線)をいこまいCARに切り替えていく。

バス

- ・名鉄バスさんにもっとサービスを改善して利益を上げてもらいたい。
- ・コミュニティバス、たとえ作っても500mもバス停まで歩けない。
- ・循環バスは皆乗らないと思う。
- ⇒山尻方面の空白地に2~3台バスが走るとよい。自家用車を手放したときはどうする。
- ・主要施設を結ぶ公共交通機関は必要。駅→病院、すいとぴあ。
- ・高齢者は免許返納すべきという風潮。

財政

- ・財政の良い市(新城市)公共交通の負担割合。長久手市が財政の割に大きく負担している。

財政

- ・今以上の税金は投入すべきでない。

交通空白

- ・交通空白地が山尻町にある。公共交通がほとんどカバーしているの事だが84歳以下の病人がいる場合は?
- ・北部地区がカバーエリアに入っていないところがある。
- ・昭和33年はバスがあった。北部地区に。

若い人の意見

- ・参加者のほとんどが60歳以上である。若い人の気持ちは?
- 現在のクルマ社会から移行できるか?

助け合い

- ・きめ細かいフォロー、福祉政策で。
- ・共助の体制が必要。自家用車の乗り合い。法律上の問題が...

江南市地域公共交通を語る会

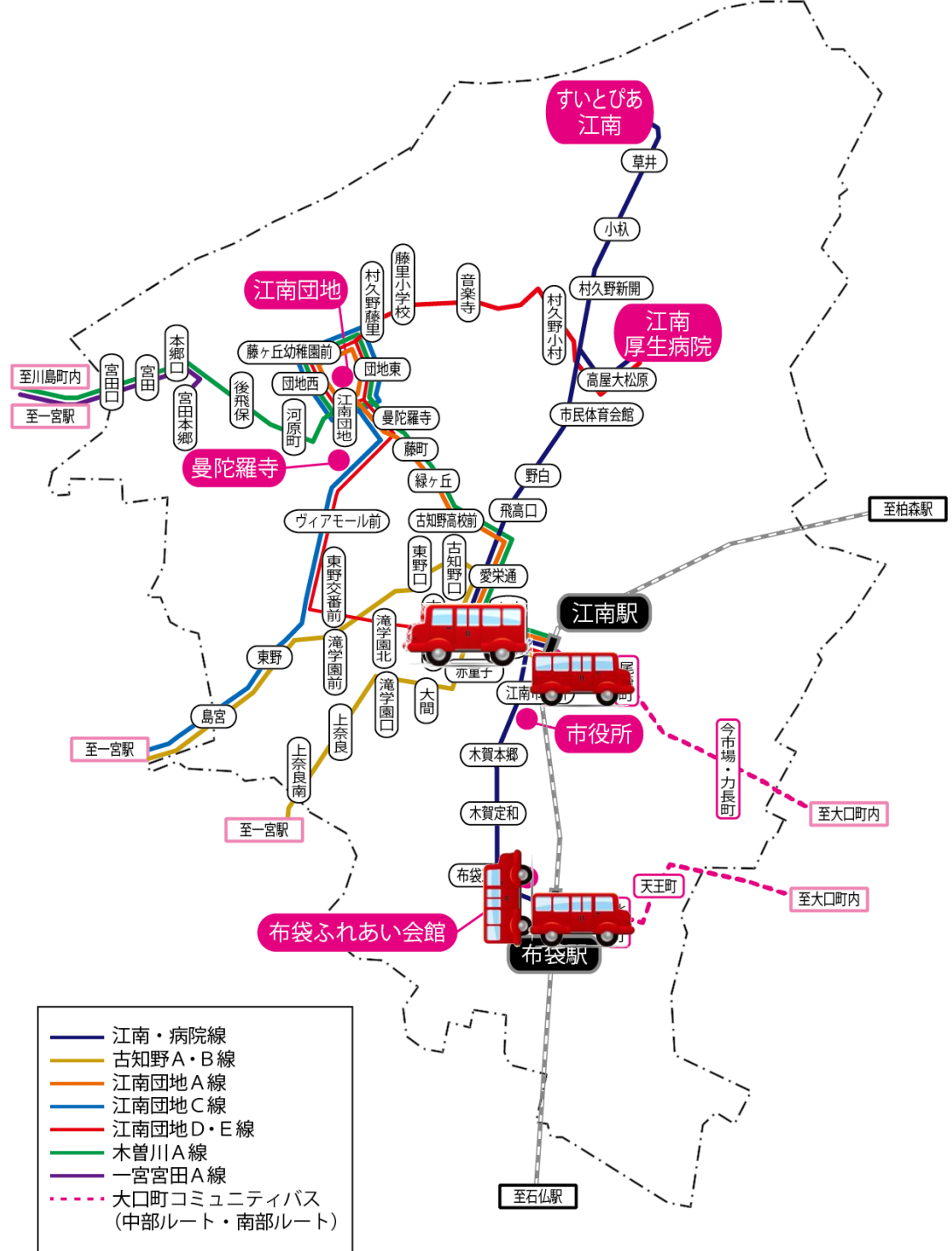
- 8月20日（土） 18：30～布袋ふれあい会館
- 8月21日（日） 14：00～古知野西公民館
- 8月25日（木） 18：30～中央コミュニティ・センター
- 8月31日（水） 18：30～宮田地区学習等供用施設
- 9月2日（金） 18：30～古知野北部地区学習等供用施設



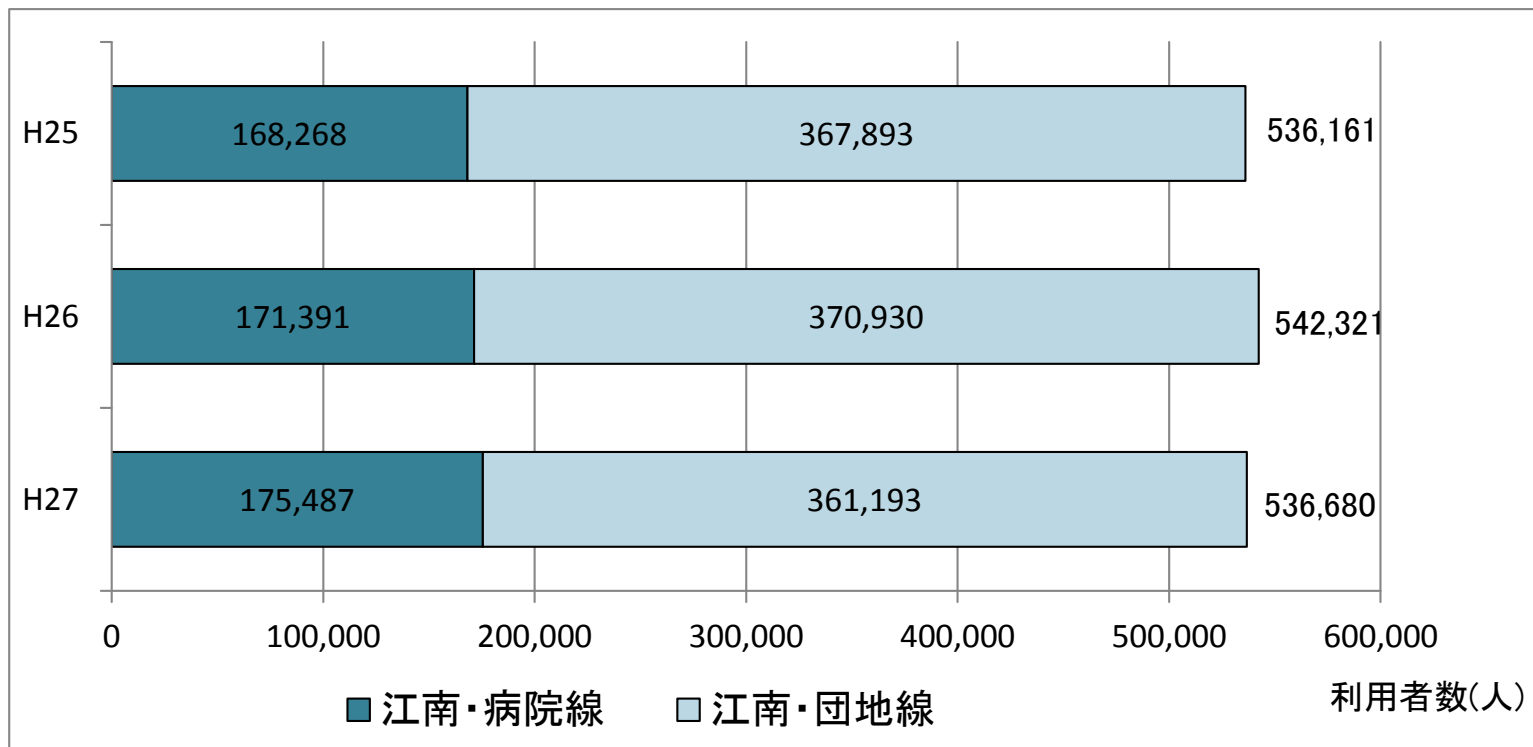
本日の内容

- 江南市の公共交通の現状について報告します。
- グループに分かれ意見交換を行います。
- 各グループの意見の発表、確認を行います。

江南市の公共交通の現状



名鉄バスの利用状況

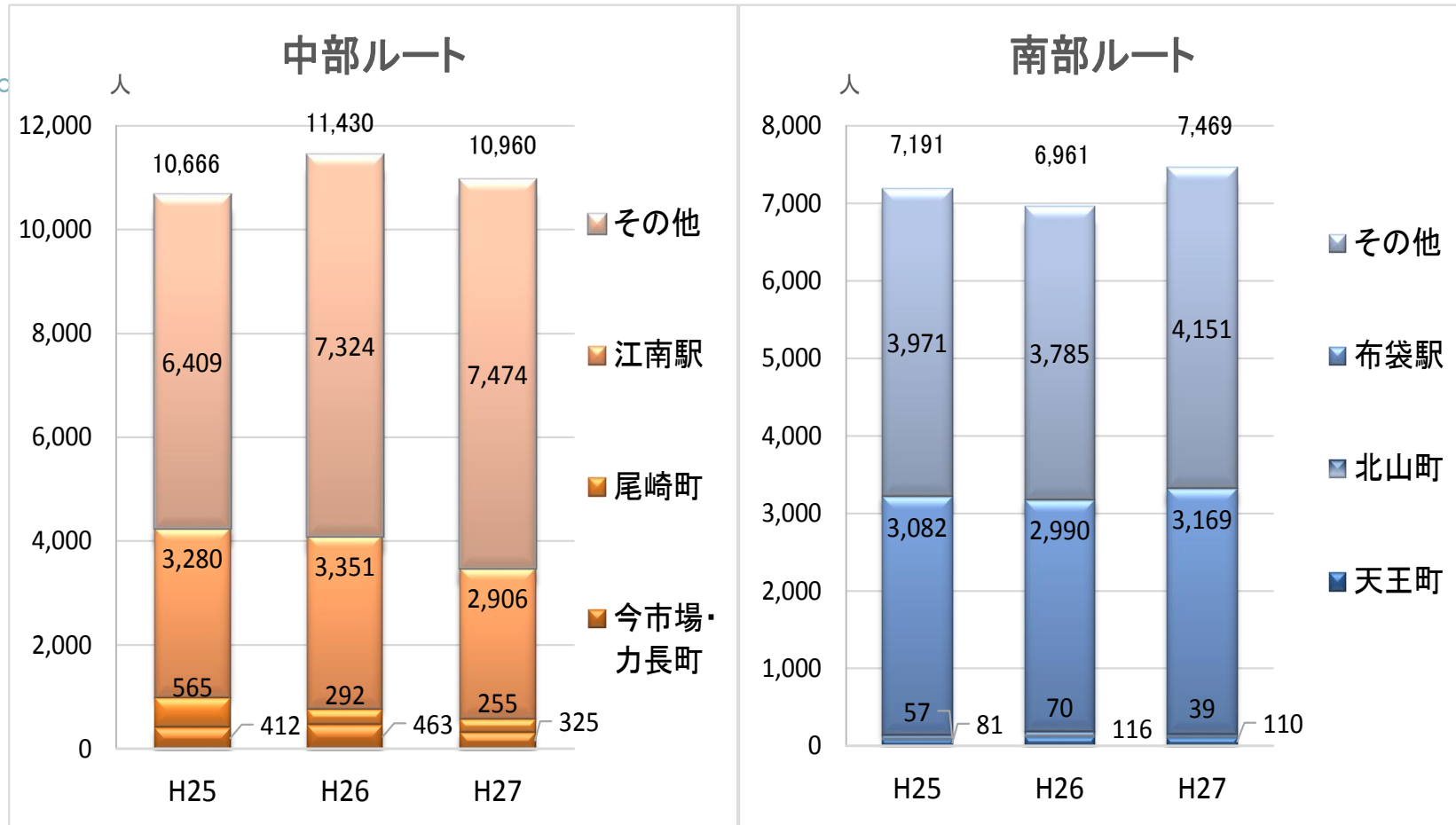


利用実績(年度・路線別)

(単位:人)

区分		利用者数		
		H25	H26	H27
江南・病院線		168,268	171,391	175,487
江南・団地線	古知野高校前経由江南団地線	181,362	167,645	167,934
	ヴィアモール前経由江南団地線	141,196	150,235	153,980
	江南団地経由厚生病院線	45,335	53,050	39,279
	団地線計	367,893	370,930	361,193
合計		536,161	542,321	536,680

大口町コミュニティバスの利用状況



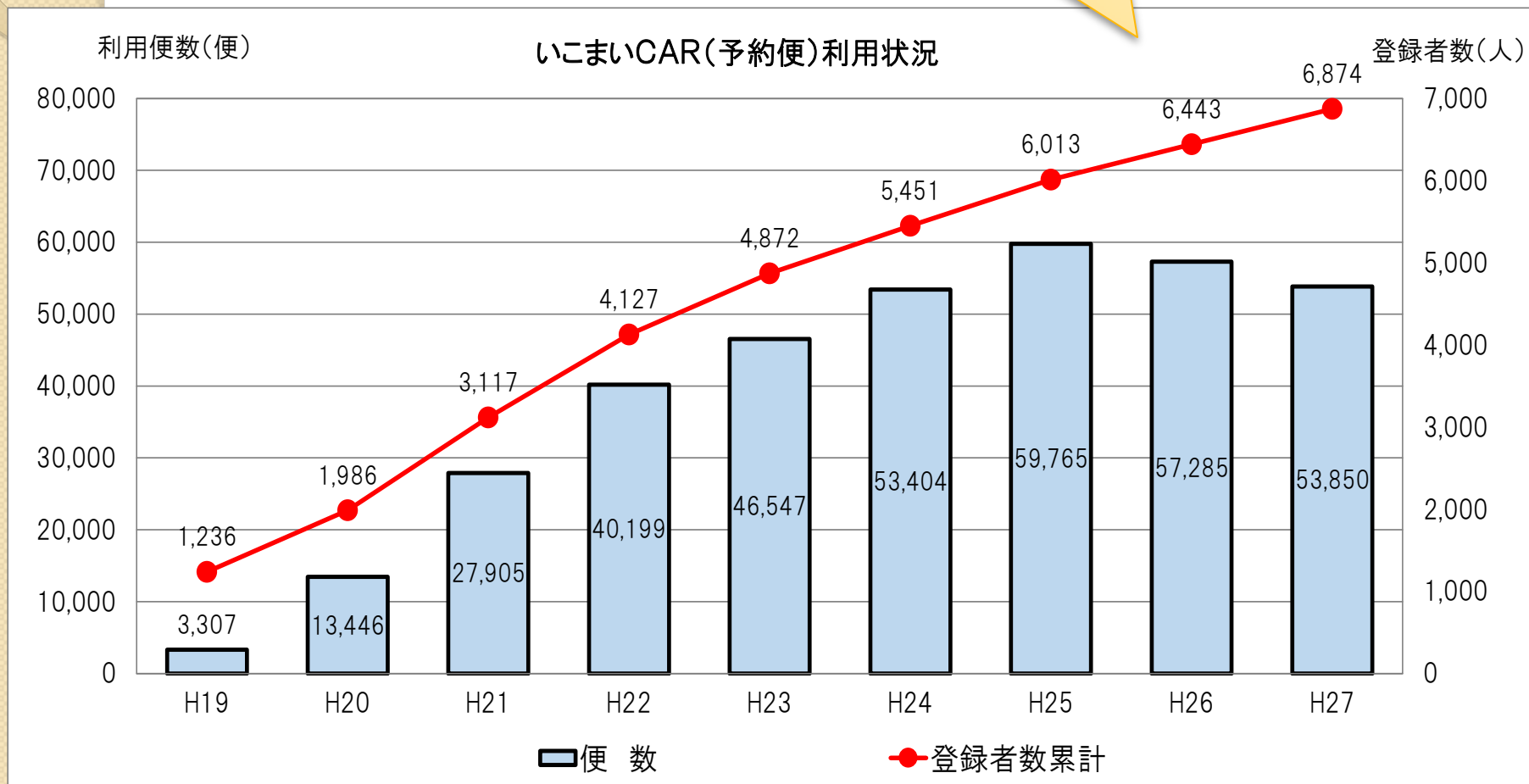
中部ルート				南部ルート			
停留所	H25	H26	H27	停留所	H25	H26	H27
今市場・力長町	412	463	325	天王町	81	116	110
尾崎町	565	292	255	北山町	57	70	39
江南駅	3,280	3,351	2,906	布袋駅	3,082	2,990	3,169
全体	10,666	11,430	10,960	全体	7,191	6,961	7,469

いこまいCAR（予約便）

- 運行日 毎日
- 運行時間 午前8時30分～午後5時
※病院利用の場合は午後6時（到着）
- 運行区間 江南市内
- 利用料金 タクシー運賃の1／2
（一般乗車方式の場合）
※お迎え料金は利用者負担
- 利用者登録 義務教育修了後の市民
- 利用方法 利用者登録後、
利用の前日までに要予約

いこまいCAR（予約便）の 利用状況①

H26年度
利用料金改正

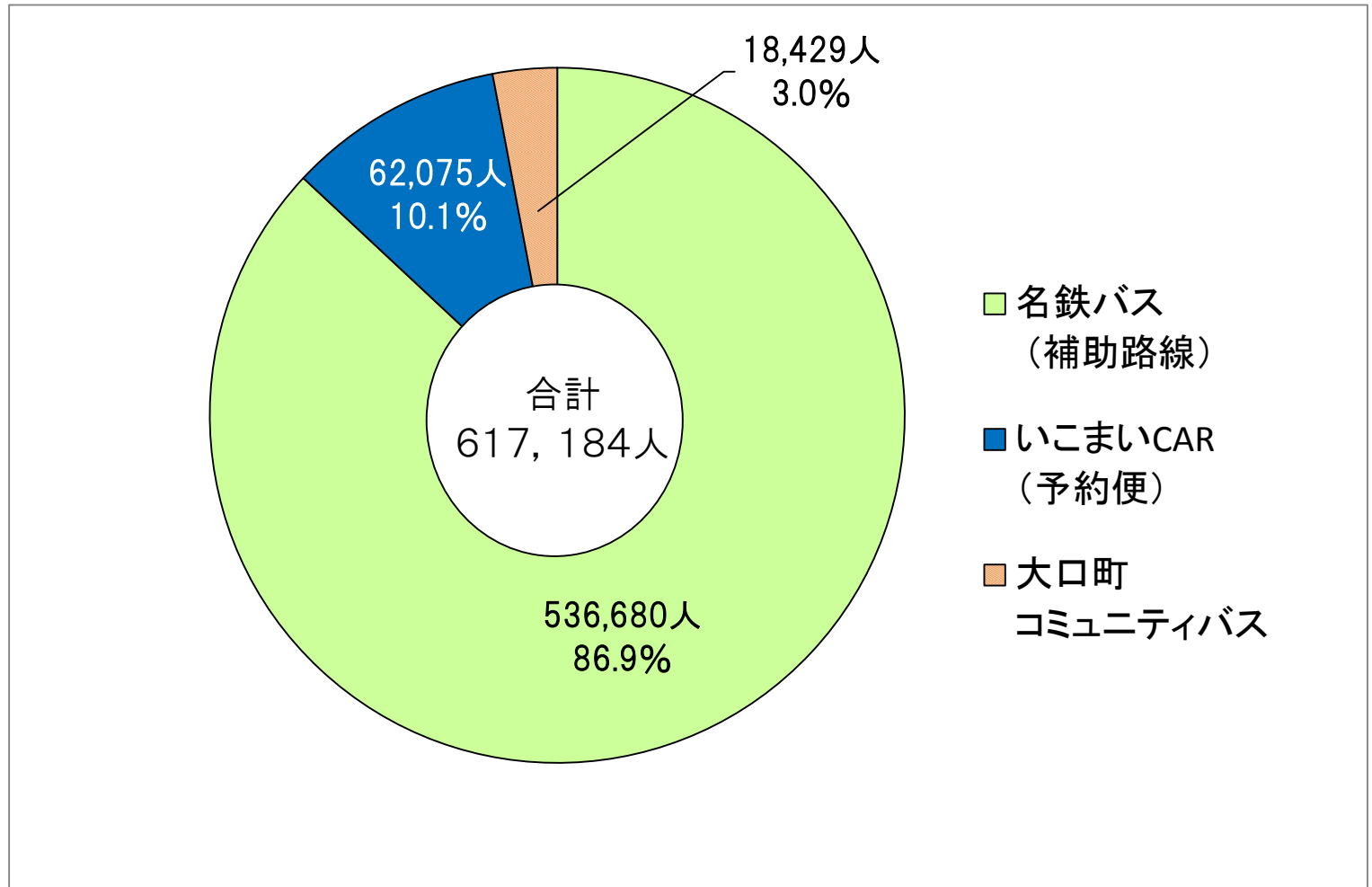


いこまいCAR（予約便）の 利用状況②

○登録者数・利用状況

年度	登録者数累計 (人)	利用者数 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	市負担額(円)		
					うちメーター運賃	うち迎車料金	
H19	1,236	3,887	3,307	1.18	2,202,240	1,910,410	291,830
H20	1,986	17,351	13,446	1.29	9,552,140	8,371,070	1,181,070
H21	3,117	37,590	27,905	1.35	19,526,940	17,089,790	2,437,150
H22	4,127	51,348	40,199	1.28	28,103,170	24,535,980	3,567,190
H23	4,872	54,692	46,547	1.17	32,006,190	27,818,160	4,188,030
H24	5,451	63,550	53,404	1.19	36,908,650	32,047,090	4,861,560
H25	6,013	70,911	59,765	1.19	41,421,510	35,916,010	5,505,500
H26	6,443	67,932	57,285	1.19	32,088,610	32,088,610	0
H27	6,874	62,075	53,850	1.15	30,644,050	30,644,050	0
計		429,336	355,708	1.21	232,453,500	210,421,170	22,032,330

公共交通の利用人数（平成27年度）



高齢者・障害者福祉タクシー助成

共通事項

- 助成内容

小型・中型タクシー基本料金相当額の
チケットを年間48枚配布

高齢者福祉タクシー助成

- 対象者 85歳以上の方

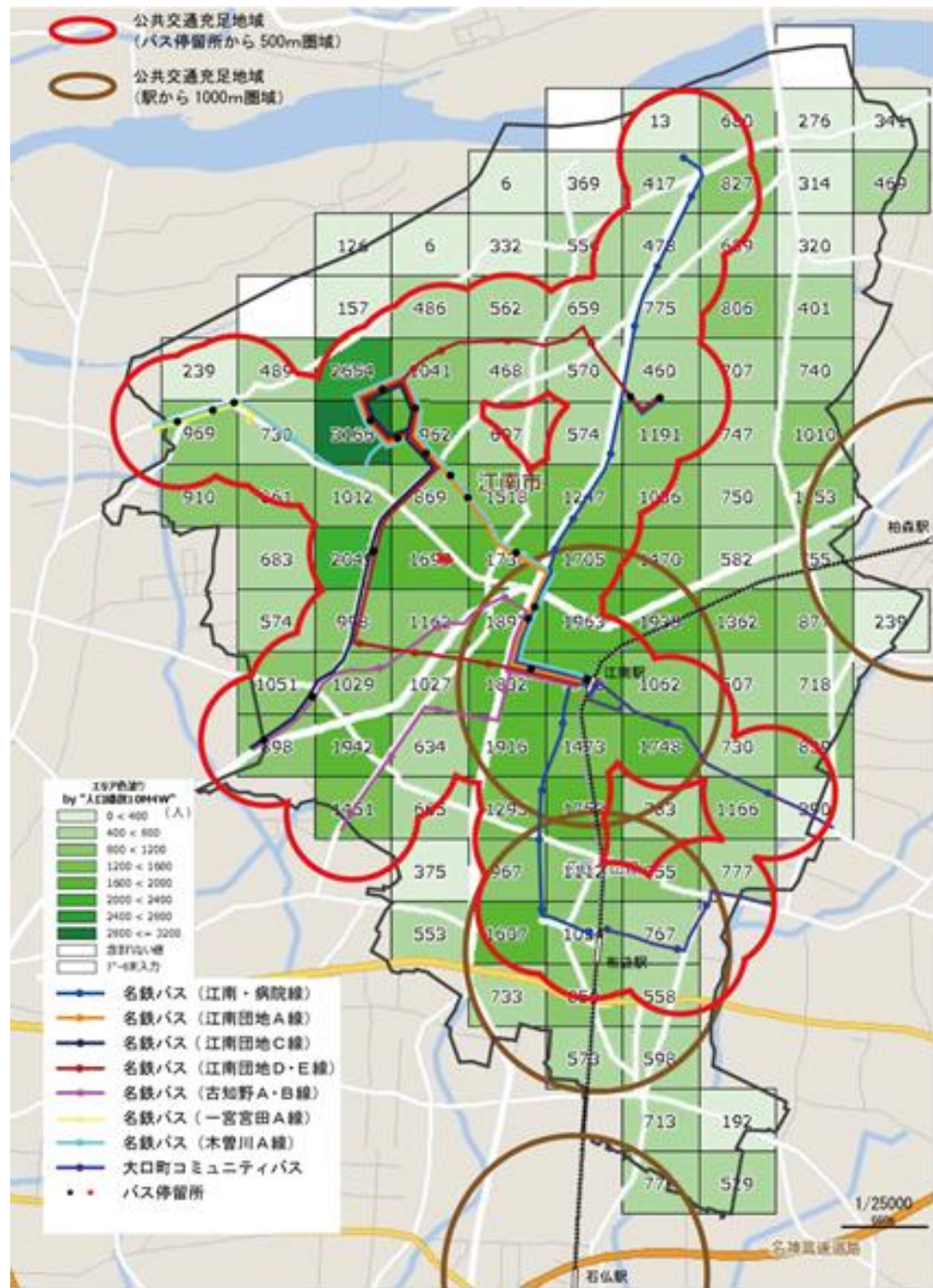
障害者福祉タクシー助成

- 対象者 障害者手帳等をお持ちの方で
決められた要件を満たす方

公共交通の カバー状況②

	公共交通 機関 カバーエ リア人口	全人口に 対する カバー率 (※)
江南駅・布袋 駅・柏森駅・石 仏駅から半径1km、 バス停から半径 500mの場合	78,531人	78.7%

(※ 母数の江南市人口には平成22年国勢調査時の99,726人を採用)



交通空白地
居住者
約21,000人
(99,726人－78,385人)

独居高齢者世帯
高齢者のみ世帯
約2,600人

高齢者に対して

福祉タクシー料金助成
(高齢者) 満85歳以上
基本料金分 年間48枚

障害者に対して

福祉タクシー料金助成
(障害者) 障害者手帳保持者など
基本料金分 年間48枚

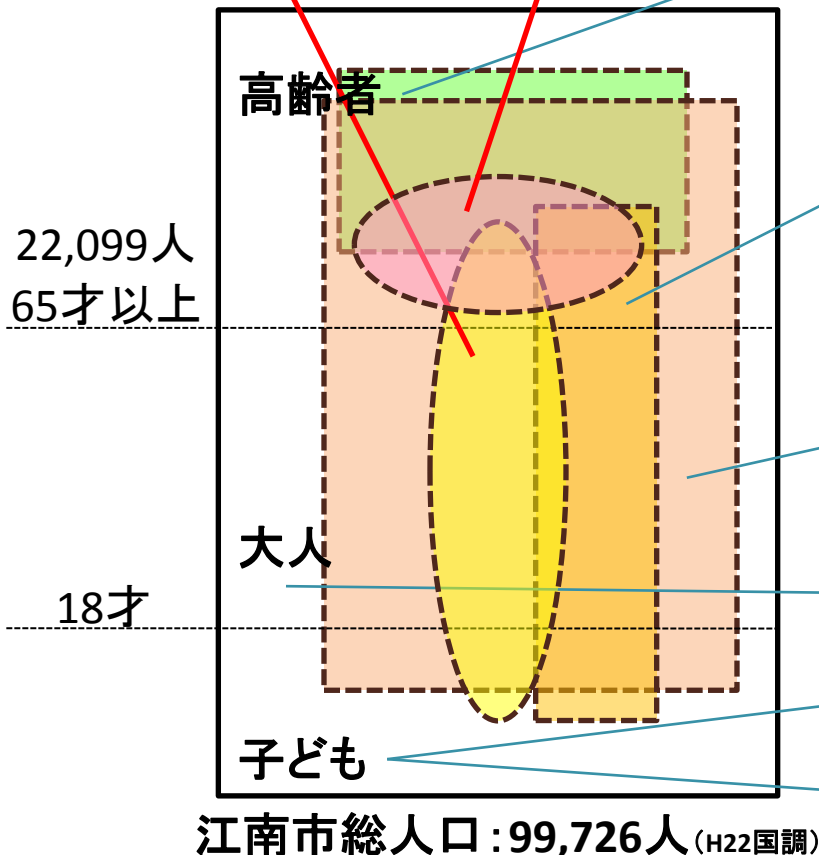
義務教育修了後の江南市民に対して

いこまいCAR (予約便)
江南市民 (義務教育修了後の市民)
タクシー料金の1/2 or 1/3負担

自家用自動車を活用

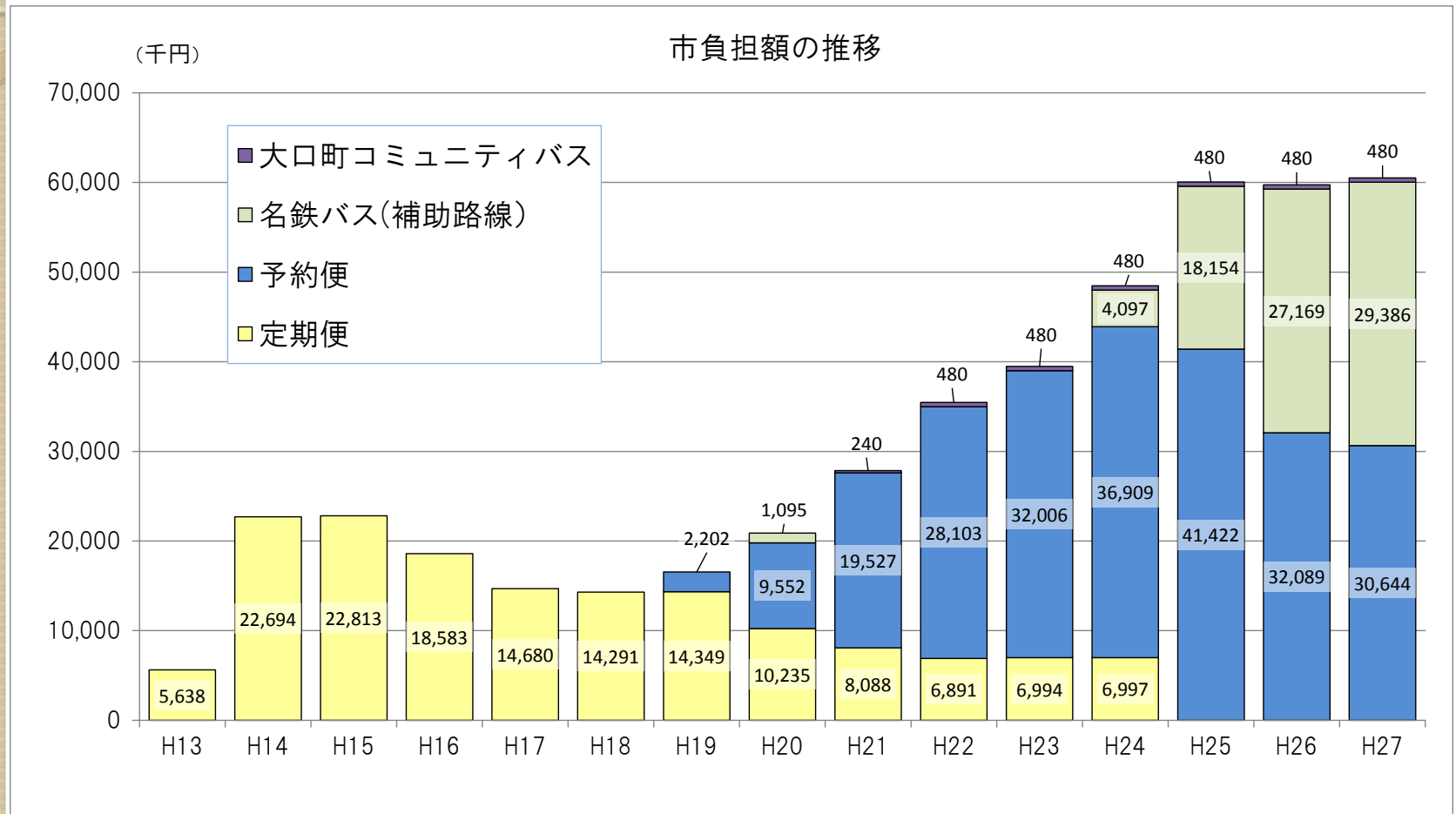
家族の送迎も可能

自転車の利用も可能



名古屋鉄道・名鉄バスが利用できない「交通空白地居住者」や「独居高齢者」であっても、いこまいCARや福祉タクシー料金助成（高齢者・障害者）により、公共交通サービスが提供されている。

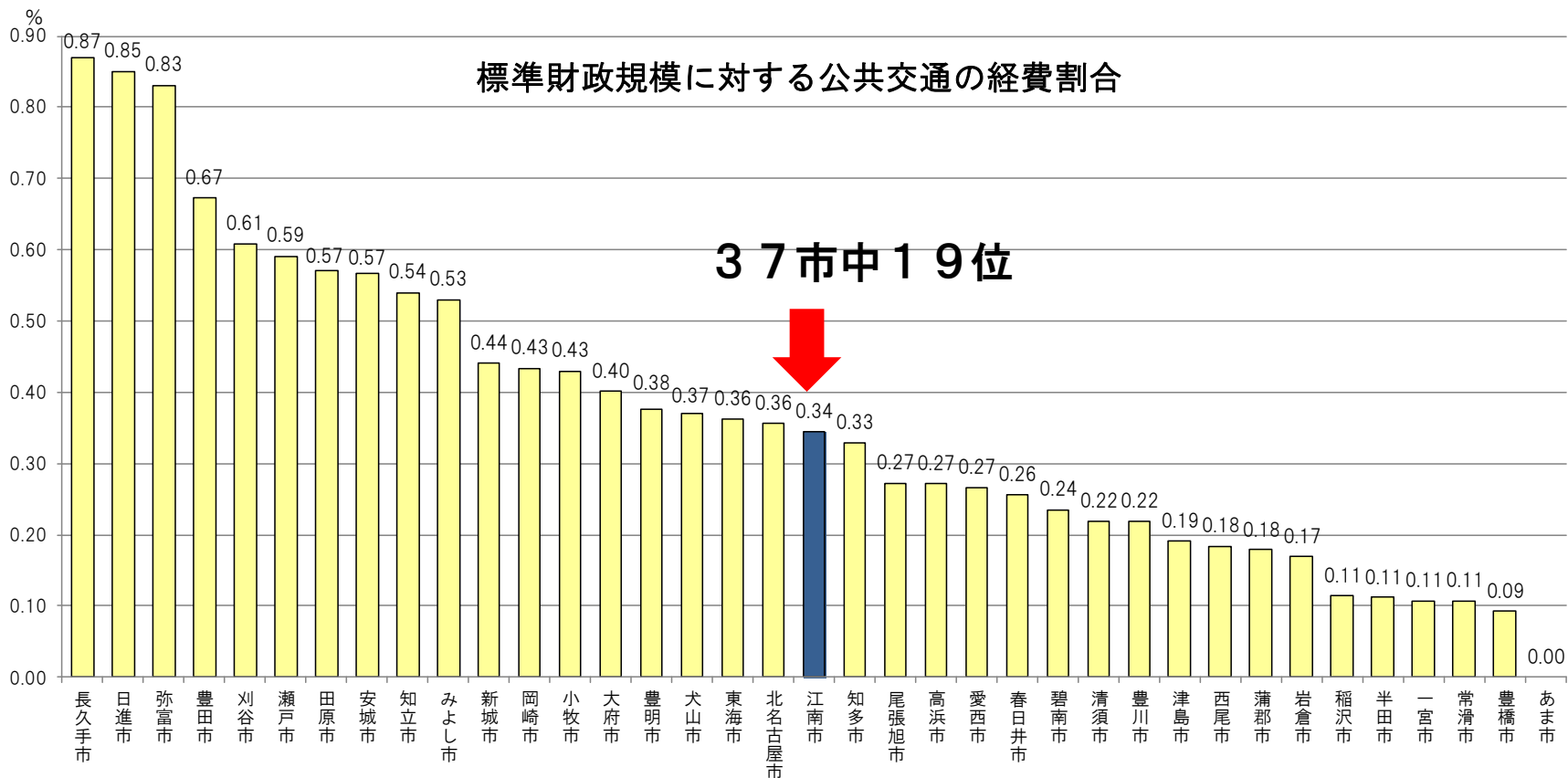
市の財政投入状況



県内他市の状況との比較①

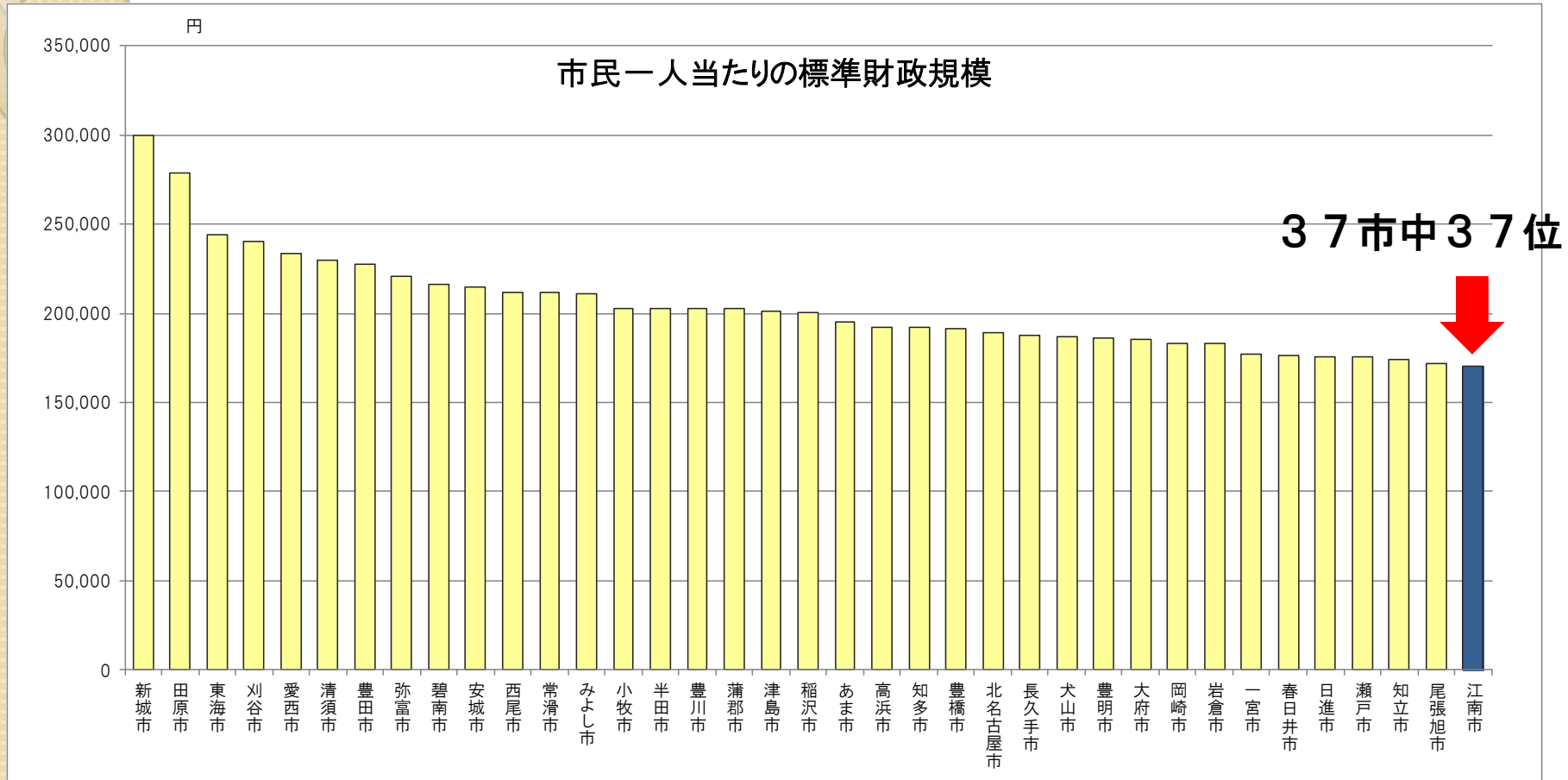
標準財政規模に対する公共交通の経費割合

37市中19位



平成26年度 自主運行バス等の運行状況等より
 (愛知県交通対策課調べ+江南市による独自調査を加味)

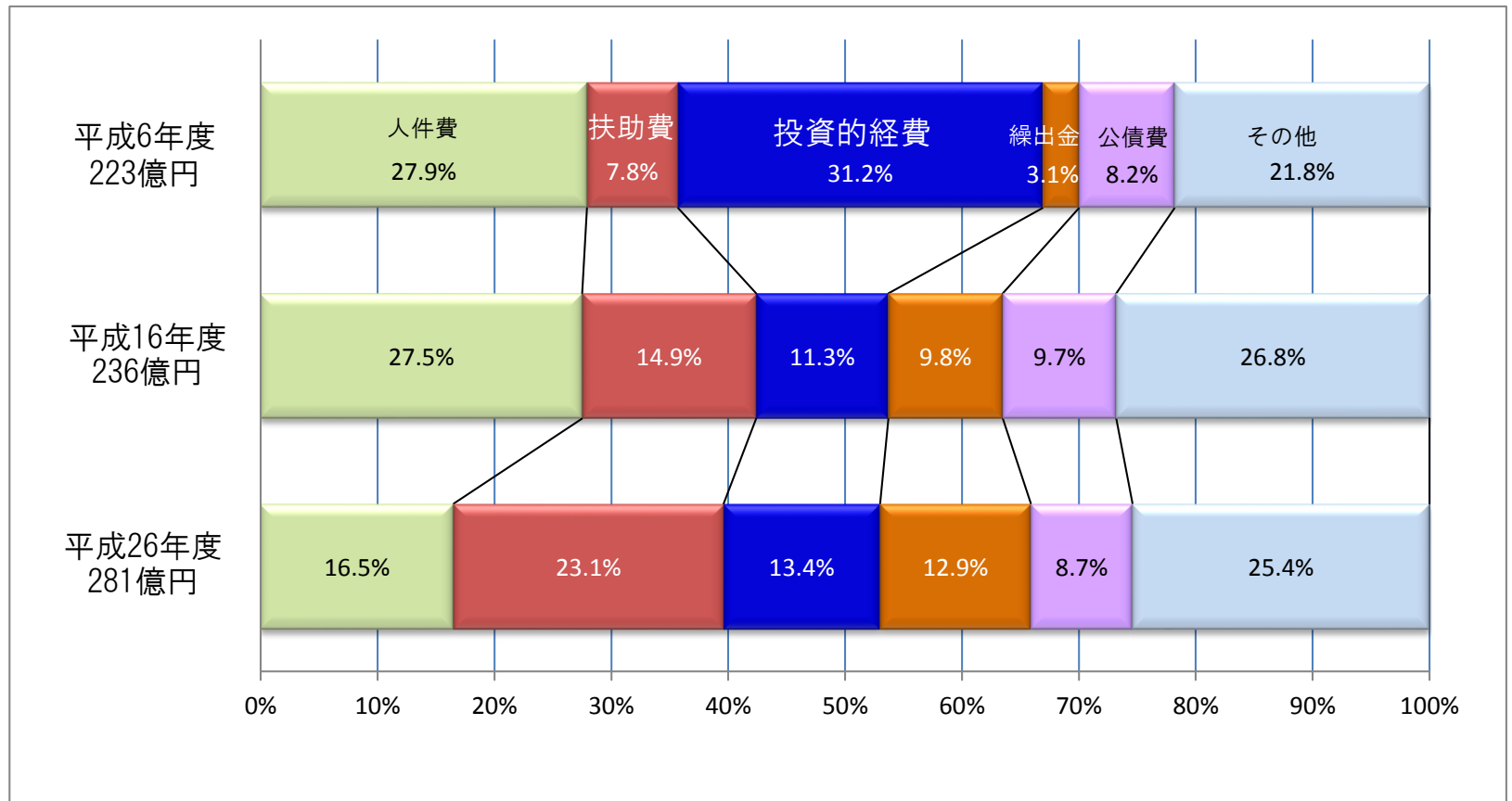
県内他市の状況との比較②



平成26年度普通会計決算状況調より（江南市）

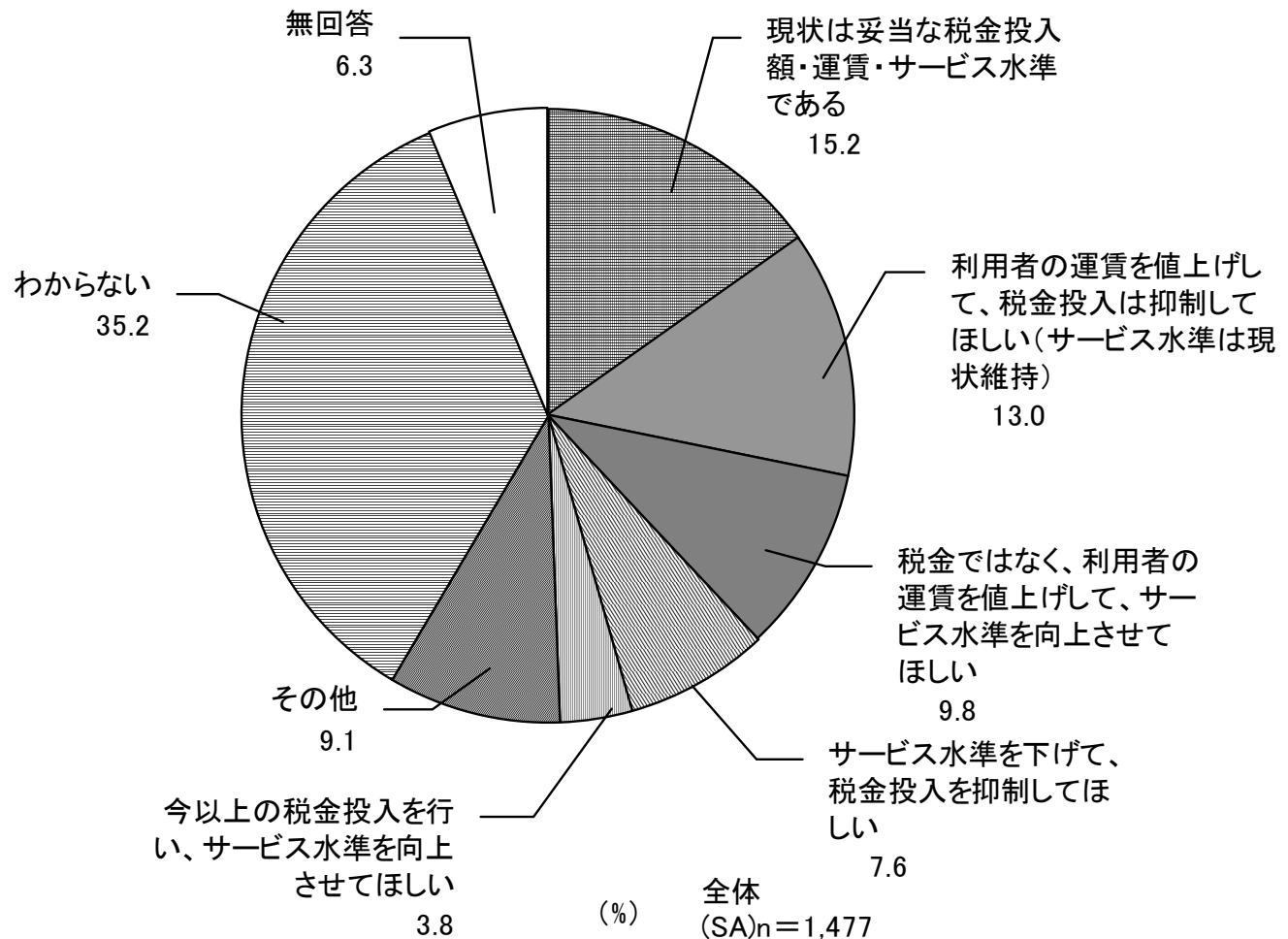
江南市の財政状況の推移

歳出・性質別決算額の推移



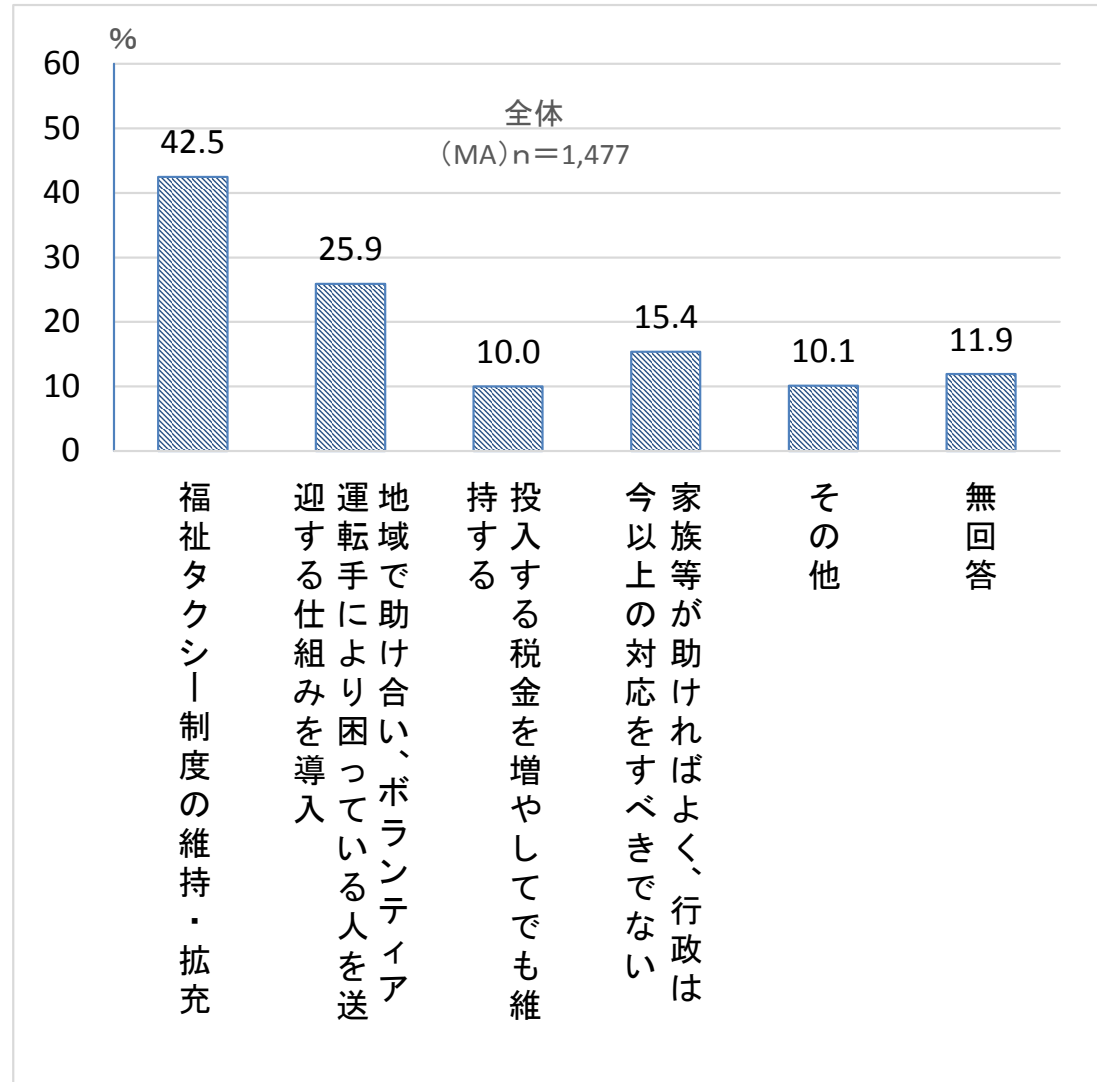
江南市民の意見① (H25アンケート調査)

◆今後の税金投入とサービス水準のあり方



江南市民の意見② (H25アンケート調査)

◆現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策



公共交通の実態（まとめ）

（1）交通空白について

- ◆ 鉄道駅やバス停留所からの物理的距離のある「交通空白地」に居住する人口は、江南市民の約21%となっており、79%はカバーできている。
- ◆ 高齢者・障害者等には福祉タクシー支援制度があること、15歳以上（義務教育修了後）の江南市民には「いこまいCAR（予約便）」のサービスが提供されており、「移動制約者」は存在しないといえる。

（2）財政投入状況について

- ◆ 公共交通サービスのための財政負担は拡大しており、現状のサービス水準を維持するとしても市負担額は拡大していくと想定される。
- ◆ 財政規模に対する公共交通の経費は県内各市と比較しても、決して低くない額を投入している。
- ◆ 市の財政見通しは、高齢化の進展により厳しい見通しにある。

（3）アンケート調査に見る住民の意向について

- ◆ 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」に対する意見は、「わからない」が35.2%と最も多い。
- ◆ 「税投入の抑制」意見は20.6%、「現状は妥当」が15.2%、「さらなる税投入」は3.8%。
- ◆ 住民意見は、「税投入の拡大」は望んでいない。



今から、グループに分かれて
意見交換を行います。

○進行役（ファシリテーター）の進行に従って、
意見交換をお願いします。

話し合う内容について（45分）

- （1）自己紹介を兼ねて、公共交通の利用状況を教えてください。（5分）
- （2）「公共交通の現状報告」に対するあなたの意見を教えてください。（20分）
- （3）「今後、どのような対応をすべきか」、あなたの意見を教えてください。（20分）
- （4）意見のとりまとめ。発表者を決めてください。



各グループからの報告

○各グループ5分程度でお願いします。

■基礎調査結果のとりまとめと今後の対応(案)

1. 江南市の公共交通の現状

○人口構造の推移・見通し

・生産年齢人口は既に減少。老年人口は増加。将来は高齢者のみ増加、全体では減少見通し。

○人口流動・地勢等

・人口分布構造は、市街化区域を中心に分布し、江南団地・駅周辺等にゆるやかに集中。

・名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町等への通勤通学流動あり。

・江南市は扇状地で、起伏が少ない平坦な地域。

○交通インフラのカバー状況

・駅から1km、バス停から500m圏域の人口カバー率は78.7%

・いこまいCAR、福祉タクシー料金助成制度等により、市内全域の移動サービスあり。

○交通インフラの維持の状況

・市が財政投入する公共交通の年間延べ利用者数：約62万人。
・最近3年間の利用者推移は、ほぼ横ばい。いこまいCARの登録者数は増加。

・財政投入は年間約6,000万円

・平成19年度以降、財政投入額は増加傾向。

2. 平成25年度市民アンケート調査結果

○外出実態

・買い物・通院時のバス利用は約5%。

・「日常の移動に不便を感じているか」を確認すると、「感じている」との回答は24%。「感じていない」との回答は、73%。

○公共交通の認知度

・「バス路線」の認知度は、「ほとんど知らない」「まったく知らない」合わせて52%。

・「いこまいCAR」の認知度は、「名前は知っているが利用方法は知らない」が54%、「知らない」が24%。公共交通の認知度は高くない。

○公共交通の満足度

・「バス」の満足度は、「わからない」が41%。「満足」が15%、「不満」が34%。

○事業評価(税投入とサービス維持とのバランス)

・「今後の税金投入とサービス水準のあり方」は、「わからない」が35%、「税投入を抑制すべき」が21%、「現状は妥当」が15%、「税金投入拡大」が4%となっている。

Ⅱ節 結果のとりまとめ

1. 現時点で江南市の公共交通は課題があるもののおおむね充足

・交通体系＝路線バス(名鉄・大口)+いこまいCAR(+福祉タクシー料金助成)
・人口カバー率：約8割。移動制約者にもサービス提供できている。

2. 既存の公共交通に対する個別要請についての対応

・利用者アンケートや公共交通を語る会では様々な個別要請を確認。
・要請を専門的に検討する体制を整えるべき。

3. まちづくりとの連動性・地域を意識した交通計画の必要性の判断

江南市のまちづくりについて方向性が大きく転換する時期

・江南市都市計画マスタープランの見直し+立地適正化計画の策定検討。
・布袋駅の鉄道高架化の推進・布袋駅東側地区の再開発事業の検討。
・まちづくりの進展により広域連携の方向性が転換する可能性。

公共交通に対する地域の機運の高まり

・「地域が主役となり一体で公共交通に取り組む」といった機運が高まっていない。

I節 基礎調査結果

Ⅲ節 今後の対応方針(案)

(1) 江南・病院線の利用者意向

・利用目的「通勤」42%、「通院」32%、「買い物」11%、「娯楽」9%、「訪問」9%。
・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
・増便、鉄道接続見直し、夜便確保等要望あり。

(2) 江南・団地線の利用者意向

・利用目的：「通勤」54%、「買い物」29%、「通院」18%、「娯楽」17%、「訪問」11%。
・満足度：全項目満足が上回る中で、「ダイヤ設定」が他と比べ低い。
・便数増、夜便確保、鉄道接続見直し等要望あり。

(3) いこまいCARの利用者意向

・利用目的：「通院」93%、「買い物」37%。
・満足度：全項目満足が上回る中で、「運行区域、料金設定」が他と比べ低い。
・市外利用、料金設定、当日予約等要望あり。

(4) 大口町コミュニティバスの利用者意向

・利用目的：「通院・買い物」(5件)
「通勤、訪問、娯楽」(2件)。分散利用。
・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
・便数増等の要望あり。

(1) 名鉄バスに対する主な意見

・サービス拡充要望あり。赤字の大きい路線をやめてコミバスへの転換など。

(2) いこまいCARに対する主な意見

・なくしてほしい。サービス拡充要望あり。2重投資問題、福祉タクシー料金助成制度との役割分担など制度について再検討すべき。

(3) 高齢者・福祉タクシー助成制度に対する主な意見

・不適切な利用の制限を行うべき。登録条件の見直しなど。

(4) 大口町コミュニティバスに対する主な意見

・便数が少ない。江南市、大口町、扶桑町で一緒に対応すべき。

(5) 交通空白についての意見

・交通空白がないというのはおかしい。困っている地域がある。
・交通不便地域の解消が大切。

(6) 新たなサービスに対する意見

・新しいコミュニティバス・巡回バス・無料バス等の確保。
・スクールバス、企業従業員送迎バス等の活用。

(7) 駅前整備に対する意見

・駐輪場、駐車場の整備。駅周辺の交通規制。

(8) 自転車利用についての意見

・自転車で気軽に走れる道路・歩道の整備。シェアサイクルの導入。

(9) 税金投入についての意見

・拡大意見と抑制意見の両方あり。

(10) その他の意見

・現状は充実、将来が不安という意見。もっと情報提供すべき。など

1. 公共交通施策の現時点での考え方(骨格)

既存の交通体系をできるだけ維持

・人口カバー率：約8割。移動制約者にもサービス提供できている。
・鉄道駅から1km、バス停から500m圏外を「交通不便地域」と定義。
・江南駅、布袋駅、江南厚生病院間、江南駅と江南団地間の公共交通サービスを幹線と位置付ける。
・幹線以外の支線も利用状況を確認しながら維持・改善。

個別要請については新たな場で検討する

・個別要請については、新たな組織を設置し、別途協議する。

2. 協議体制＝現行体制下で検討部会を立ち上げ、評価機能を強化

・江南市地域公共交通会議に評価の役割を新たに設定し、個別要請への対応方法を協議する下部組織(検討部会)を新設。
・江南市地域公共交通会議は合意形成の場に加え、評価機能を設定。

3. 公共交通の再編の時期＝まちづくり+地域の機運の高まりを考慮

・「まちづくりの方向性」+「地域の機運の高まり」が見えた時点で、公共交通の再編を改めて検討する。
・地域の機運を高めるための施策、地域主導の施策についても検討

Ⅳ節 検討が求められる事項

3. 利用者アンケート調査結果

4. 地域公共交通を語る会での主な指摘事項

■基礎調査結果のとりまとめと今後の対応（案）

I 節 基礎調査結果

1. 江南市の公共交通の現状について（要約）

○人口構造の推移・見通し

- ・生産年齢人口は既に減少。老年人口は増加。将来は高齢者のみ増加、全体では減少見通し。

○人口流動・地勢等

- ・人口分布構造は、市街化区域を中心に分布し、江南団地・駅周辺等にゆるやかに集中。
- ・名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町等への通勤通学流動あり。
- ・江南市は扇状地で、起伏が少ない平坦な地域。

○交通インフラのカバー状況

- ・駅から 1km、バス停から 500m 圏域の人口カバー率は 78.7%
(エリア外人口約 21,000 人)
- (国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金要綱の基準である駅 1km、バス停 1km 圏域のカバー率 93.9% : エリア外人口約 6,600 人)
- ・いこまい CAR、福祉タクシー料金助成制度等により、市内全域の移動サービスあり。

○交通インフラの維持の状況

- ・市が財政を投入している公共交通の年間延べ利用者数：約 62 万人。
(名鉄バス「江南・病院線」「江南団地線」：54 万人・87%、いこまい CAR：6 万人・10%、大口町コミュニティバス：2 万人・3%)
- ・最近 3 年間の利用者推移は、ほぼ横ばい。いこまい CAR の登録者数は増加。
- ・財政投入は年間約 6,000 万円（いこまい CAR 約 3,100 万円、名鉄バス補助約 2,900 万円）。
- ・平成 19 年度以降、財政投入額は増加傾向。

2. 平成 25 年度市民アンケート調査結果について（要約）

○外出実態

- ・「外出には困難を感じない」との回答者が 91%。「杖が必要」が 4%、「介助が必要」2%、「困難な状況」との回答が 2%。
- ・「買い物」時の交通手段の内、「鉄道」利用者 13%、「バス」等 5%。「通院」時の交通手段の内、「鉄道」利用者 2%、「バス」等 5%。買い物・通院時のバス利用は約 5%。
- ・「日常の移動に不便を感じているか」を確認すると、「感じている」との回答は 24%。「感じていない」との回答は、73%。

○公共交通の認知度

- ・「バス路線」の認知度は、「ほとんど知らない」「まったく知らない」合わせて 52%。
- ・「いこまい CAR」の認知度は、「名前は知っているが利用方法は知らない」が 54%、「知らない」が 24%。公共交通の認知度は高くない。

○公共交通を利用しない人の理由

- ・居住地近くにおけるバス停の有無については、「知らない・わからない」が 38%、「ある」が 25%、「ない」が 37%。
- ・近くにバス停がある人のバスを利用しない理由は、「車を運転できる」が 64%。

○公共交通の満足度

- ・「バス」の満足度は、「わからない」が 41%。「満足」が 15%、「不満」が 34%。居住地別では、市周辺部での満足度が相対的に低い。

○事業評価（税投入とサービス維持とのバランス）

- ・「民間路線バスを維持することの妥当性（評価）」について、「わからない」との回答が 29%、「妥当」が 38%、「不満」が 28%。不満より妥当が上回る。
- ・「いこまい CAR を維持することの妥当性（評価）」について、「わからない」との回答が 32%、「妥当」が 19%、「不満」が 45%。妥当より不満が上回る。
- ・「今後の税金投入とサービス水準のあり方」は、「わからない」が 35%、「税投入を抑制すべき」が 21%、「現状は妥当」が 15%、「税金投入拡大」が 4%となっている。

3. 利用者アンケート調査結果について（要約）

（1）名鉄バス「江南・病院線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」42%、「通院」32%、「買い物」11%、「娯楽」9%、「訪問」9%。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・増便、鉄道接続見直し、夜便確保等要望あり。

（2）名鉄バス「江南団地線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」54%、「買い物」29%、「通院」18%、「娯楽」17%、「訪問」11%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「ダイヤ設定」が他と比べ低い。
- ・増便、夜便確保、鉄道接続見直し等要望あり。

（3）いこまいCARの利用者意向

- ・利用目的：「通院」93%、「買い物」37%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「運行区域、料金設定」が他と比べ低い。
- ・市外利用、料金設定、当日予約等要望あり。

（4）大口町コミュニティバスの利用者意向

- ・利用目的：「通院・買い物」（5件）
「通勤、訪問、娯楽」（2件）。分散利用。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・便数増等の要望あり。

4. 江南市地域公共交通を語る会での主な指摘事項について（要約）

（1）名鉄バスに対する主な意見

○サービスの拡充要望

- ・便数が少ない、最終便を遅く、運賃が高い、バス停まで遠い、屋根がほしい、鉄道との接続が悪い、バス停の見直しなど。
- ・北部エリア、フラワーパークなどの路線確保。車両の小型化。

○税投入の見直し

- ・補助金の見直し。赤字の大きい路線の補助はやめるべき。
- ・利用者負担の拡大、応分の負担を考えるべき。

○コミュニティバスへの転換要請

- ・補助路線をやめて、コミュニティバスに転換すべき（市がマイクロバスで交通網を作るべき）。
- ・病院、スーパー、駅等をつなぐ、循環バスを走らせるべき。

（2）いこまいCARに対する主な意見

○事業存続意見

- ・なくしてほしくない。

○サービスの拡充要望

- ・予約がネック。当日予約にしてほしい。
- ・運行時間の延長（朝6時～夜10時）。
- ・市外利用を認めてほしい（柏森駅、商業施設等）。

○運賃制度

- ・距離の格差を減らしてほしい。

○バス事業との関係性

- ・2重投資になっている（バス利用を減らしている）。
- ・バスへの乗り継ぎ利用にすべき。
- ・利用の多い区間を定期便にすべき。

○制度設計等に対する意見

- ・福祉タクシー料金助成制度との役割分担など、制度について再検討すべき。
- ・年齢制限を導入すべき（70歳以上など）。
- ・利用目的を制限すべき（病院等に）。

(3) 福祉タクシー料金助成制度に対する主な意見

○制度設計等に対する意見

- ・配布枚数 48 枚では少ない。
- ・対象者の枠の拡大（年齢制限の引き下げ等）。
- ・不適切な利用の制限を行うべき。

○事業費等に対する意見

- ・登録条件（年齢、利用目的制限など）を見直し、全体事業費の削減を行うべき。
- ・福祉有償ボランティア輸送等のその他方法を検討すべき。

(4) 大口町コミュニティバスに対する主な意見

○サービスの拡充要望

- ・便数が少ない、バス停環境の整備（屋根、風よけ）

○事業構築に対する意見

- ・江南市、大口町、扶桑町で一緒に対応すべき。

(5) 交通空白についての意見

○交通空白の定義について

- ・交通空白がないというのはおかしい。困っている地域がある。
- ・いこまい CAR は、公共交通とは言えない。タクシーがあるから空白がないとは言えない。

○交通不便地域の対応について

- ・定時定路線でカバーできていないエリアの解消が大事。

○改善方法について

- ・いこまい CAR を距離や年齢などにより補助率を変えるべき。
- ・地域からの寄付、受益者負担を考えるべき。
- ・福祉政策で対応。

(6) 新たなサービスに対する意見

- ・新しいコミュニティバスを導入すべき。
- ・巡回バス、夜の便、無料バスなどの確保。
- ・拠点を選択して、相互に繋ぐネットワークをつくる。
- ・スクールバス、企業従業員送迎バスの活用。
- ・ボランティア輸送などの導入検討。

(7) 駅前整備に対する意見

- ・ 駐輪場、駐車場の整備。
- ・ 駅周辺の交通規制を行い、混雑緩和を行う。

(8) 自転車利用についての意見

- ・ 自転車で気軽に走れる道路・歩道の整備。
- ・ シェアサイクルの導入。

(9) 税金投入についての意見

○ 拡大意見

- ・ もっと財政投入すべき。
- ・ どれくらいまで補助できるか検討すべき。
- ・ 市長の退職金など、他の財源を回すべき。
- ・ 財政を豊かにする。福祉にお金がかかるのは当然。大きな財政計画を。

○ 抑制意見

- ・ 受益者負担にすべき。
- ・ これ以上はだめ。上限枠を決めるべき。もっと減らすべき。

(10) その他の意見

○ 実態評価・将来見通し

- ・ 公共交通は大変充実していると思う。
- ・ 将来が不安。

○ 情報提供について

- ・ 十分理解されていない。もっと情報提供・PRすべき。
- ・ 議会議員・区長が、住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。

○ その他

- ・ 個人の意見を聞いても使わなければ意味がない。
- ・ 行政サービスの選択と集中が必要。
- ・ 地域でサポートする仕組み、ボランティア輸送、元気な人が他人を乗せる仕組み等の検討。

Ⅱ節 結果のとりまとめ

1. 現時点で江南市の公共交通は課題があるもののおおむね充足

- ・鉄道駅から半径 1 km およびバス停から半径 500m のカバーエリア人口は 78.7% となっている。カバー率圏外の「交通不便地域」に居住する移動制約者にも、いこまい C A R 等によって公共交通サービスが提供できている。
- ・現時点で、江南市の交通体系は定時定路線である名鉄バス及び大口町コミュニティバスで構成されており、いこまい C A R（一部、福祉タクシー料金助成）で補完している。

2. 既存の公共交通に対する個別要請についての対応

- ・公共交通はおおむね充足しているというものの、利用者アンケート調査や江南市地域公共交通を語る会では様々な個別要請があることを確認した。
- ・提出された個別要請は、基本的に現在の江南市地域公共交通会議の体制の中で検討できるものが大多数を占めている。
- ・個別要請を検討するためには内部組織だけでなく、外部委員を迎えて専門的に協議する体制を整えるべきである。

3. まちづくりとの連動性・地域の機運を意識した交通計画の必要性の判断

○江南市のまちづくりについて方向性が大きく転換する時期

- ・現行の江南市都市計画マスタープランの計画目標年次が平成 29 年度となっており、計画の見直しが予定されている。また、今後、立地適正化計画の策定についても検討しており、まちづくりと公共交通の整合性が確保できる時期とは言えない。
- ・布袋駅の鉄道高架化事業を推進しており、平成 31 年度末の完成を目指している。また、平成 28 年 9 月に布袋駅東側地区における再開発事業について検討を開始した状態であり、これから「まちのすがた」が大きく変わる時期を迎える。
- ・まちづくりの進展により大口町等との広域連携の方向性が転換する可能性がある。

○公共交通に対する地域の機運の高まり

- ・公共交通を再編し、新たなサービスを実現させようとする場合、地域（コミュニティ）の関わりが非常に大きな鍵であり、「地域が主役となり一体で公共交通について取り組む」といった機運の高まりが重要である。
- ・現状の改善案としてコミュニティバス・巡回バスの導入など、新たな公共交通サービスの導入について意見はあるものの、利用者の確保策やコースの検討について地域の案として成熟した回答が出せる状況ではなく、公共交通に対する機運が高まっていない。

Ⅲ節 今後の対応方針（案）について

1. 公共交通施策の現時点での考え方（骨格）

○現状の交通体系をできるだけ維持する。

- ・ 駅やバス停からの物理的距離からみた公共交通の人口カバー率は約8割である。カバー率圏外の「交通不便地域」に居住する移動制約者にも、いこまいCAR等によって公共交通サービスが提供できている。この状況をできるだけ維持する。
- ・ 現時点で江南市には「交通空白地」は存在しないと考え、鉄道駅から1km、バス停から500m圏外を「交通不便地域」と定義する。
- ・ 江南市都市計画マスタープランでは、将来の都市構造の中で都市核のうち中心核を江南駅周辺、サブ核を布袋駅周辺、江南厚生病院周辺と位置付けていることから、それぞれの核を結ぶ公共交通サービスを市の幹線と位置付ける。この位置付けに併せて、現状路線が存在し、人口集積率も高く公共交通サービスの利用者を多く見込むことができる江南団地と江南駅間の公共交通サービスについても幹線と位置付ける。
- ・ 幹線以外の支線についても「豊かで暮らしやすい生活都市」として江南市戦略計画に定める都市のすがたを実現するため、利用の状況を確認しながら維持・改善に努める。

○個別要請については新たな場で検討する。

- ・ 利用者アンケート調査や江南市地域公共交通を語る会で個別要請が出されている状況を踏まえ、庁内で検討を進めるとともに、新たな組織を設置し別途協議を行う。

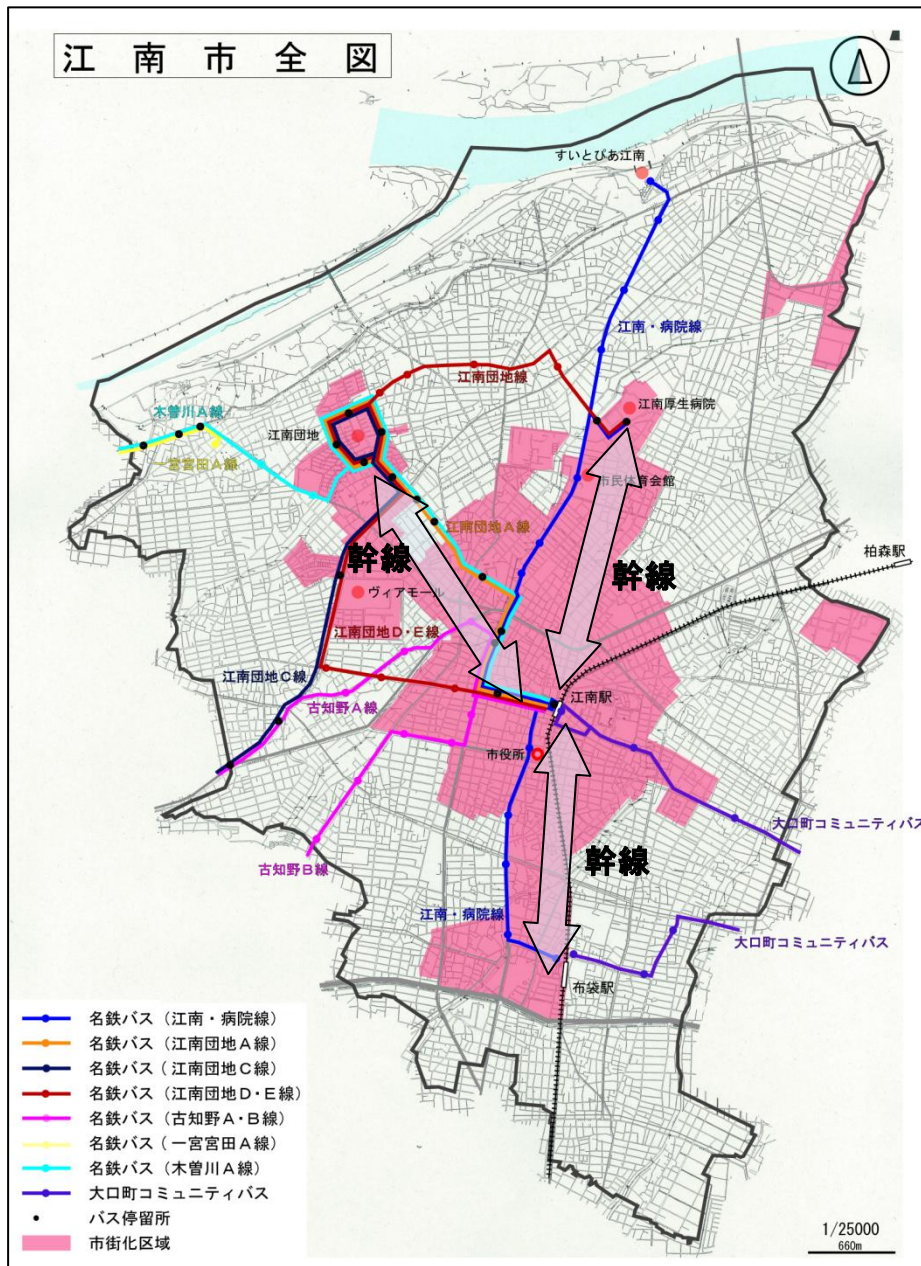
2. 協議体制＝現行体制下で検討部会を立ち上げ、評価機能を強化

- ・ 江南市地域公共交通会議に評価の役割を新たに設定し、既存の枠組みの中で体制を強化するため、個別要請への対応方法を協議する下部組織（検討部会）を新設する。
- ・ 下部組織は、現在の公共交通サービスに関する課題を専門的、集中的に協議し、その協議結果を江南市地域公共交通会議に報告・提案する。
- ・ 江南市地域公共交通会議は、下部組織の協議結果について合意形成を図るとともに、合意事項や交通サービスについて定期的に評価を行う。

3. 交通計画の見直し時期はまちづくりの進展・地域の機運の高まりを考慮する

- ・ 「まちづくりの方向性」が見えた段階に加え、「地域が主役となり地域住民（利用者）・行政・事業者が一体で公共交通に取り組む」といった公共交通に対する地域の機運の高まりが見えた時点で、公共交通の再編について改めて検討する。
- ・ 地域の機運を高めるための施策、地域主導の施策についても検討を進める。

図：江南市内の公共交通と幹線の位置付け



IV節 公共交通施策において検討が求められる事項とその対応の考え方について

1. 既存の公共交通サービスについての指摘事項とその対応の考え方について

(1) 名鉄バスについて

○住民からの要望事項についての検討

- ・便数が少ない、運賃が高い、バス停が遠いといった各種要望事項について、名鉄バスと共有すると共に、改善できる事項について「事務局にて交通事業者と協議」する。

○税投入の見直しについての検討

- ・利用者負担の拡大との指摘に対して、名鉄バスの運賃形態は、認可運賃のため原則変更できない。
- ・税投入して維持している名鉄バス「江南・病院線」「江南団地線」の扱いについて、「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

○コミュニティバスへの転換要請についての検討

- ・上記の対応に関連するため、対応の方向性について「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

(2) いこまいCARについて

○住民からの要望事項についての検討

- ・当日予約、運行時間の延長、市外利用、運賃制度の要望事項について、「庁内会議にて協議」する。関係者の合意形成が必要なものについては「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

○制度設計等に対する意見についての検討

- ・バス事業との2重投資、福祉タクシー料金助成制度との役割分担、年齢制限、利用目的の制限等、制度設計等について、「庁内会議にて協議」する。

(3) 福祉タクシー料金助成制度について

○制度設計等に対する意見についての検討

- ・配布枚数、登録条件、利用条件、事業費削減等の意見について、「庁内（福祉部門）へ情報提供」する。

(4) 大口町コミュニティバスについて

○住民からの要望事項等についての検討

- ・要望等については、江南市による財政負担無くして改善できない。
- ・大口町、扶桑町との連携については、新たな事業化を行う方向性が示された時点で、調整すべき事項である。

- ・後述の新たなサービスの対応と併せて、対応方針について「他市町・庁内会議にて協議」する。

2. 新たな交通サービスについての指摘事項とその対応の考え方について

(1) 交通不便地域について

○交通不便地域の対応についての検討

- ・市内全域をカバーする「いこまい CAR」、一般乗用タクシーが、公共交通として認識されていない。
- ・交通不便地域などにおけるいこまい CAR 等の利用料金負担に関する地域格差の是正、福祉施策、受益者負担の扱いについて、「庁内会議にて協議」する。

(2) 新たなサービスについて

○導入についての検討

- ・地域全体で公共交通を実現するための施策、地域主導による新たな施策のあり方について「庁内会議にて協議」する。
- ・新たなコミュニティバス、巡回バス、無料バス等の導入は、新たな財政投資が必要。税金投入の今後の対応のあり方次第となるため、財政負担の対応と併せて整理する。

○財政上の工夫（財政投入を伴わない施策）についての検討

- ・スクールバス（愛知江南短期大学、滝学園）、企業従業員送迎バス、ボランティア輸送など、新たな財政投入を伴わないで活用が考えられるサービスについて、「庁内会議にて協議」する。

(3) 駅前整備について

○将来のまちづくりでの検討

- ・駐輪場・駐車場・駅周辺の交通規制等は、駅周辺のまちづくり事業での対応となる。上位関連計画の「江南市都市計画マスタープラン」の計画目標年次は平成 29 年度であるため、当該要望事項を関係部局と共有し、次期計画策定時での検討事項と位置付ける。

(※既存計画においては、駐車場・駐輪場は、駅やバス停留所の周辺での確保・拡充を検討することとしている。(江南市都市計画マスタープラン p53))

(4) 自転車利用について

○将来のまちづくりでの検討

- ・自転車の活用、気軽に走れる道路・歩道の整備については、駅前整備と同様にまちづくり事業での対応となる。当該要望事項を関係部局と共有し、次期計画策定時での検討事項と位置付ける。

(※既存計画での自転車道の扱いは、環境負荷の少ない社会の構築の中で、整備を検討することとしている。(江南市都市計画マスタープラン p60))

3. 財政負担（税金投入）についての指摘事項とその対応の考え方について

○拡大 or 抑制の相対立する意見についての検討

- ・江南市地域公共交通を語る会では、住民アンケート調査結果（抑制すべきとの意見が多い）、財政負担の実態（負担額は増加傾向）等について報告した中で、「もっと財政投入すべき」と「抑制すべき」との相対立する意見が指摘された。
- ・江南市の財政状況を鑑みると、現在の財政負担を維持することはできず、今以上の負担額の圧縮が求められている状況にある。
- ・住民アンケート調査結果でも、維持・抑制を求める意見が多数である。
- ・財政投入拡大の意見があるものの、江南市の財政事情を考慮しつつ、投入の方向性を検討する必要がある。

4. その他指摘事項とその対応の考え方について

○評価・情報発信等の体制確保についての検討

- ・実態を評価する意見としては、前述までの各種要望事項以外に、「大変充実していると思う」という意見と「将来が不安」という意見が共存する。また、現状について知らなかった、もっと情報発信すべきとの指摘がある。
- ・公共交通のモニタリング、評価については「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。
- ・情報発信等を行う体制確保や取り組み方法について「庁内会議にて協議」する。

【現行体制】

江南市地域公共交通会議

- 体制
 - ・有識者、国、県、警察、道路管理者、老人クラブ、江南厚生病院、社会福祉協議会、県バス協会、バス事業者、県タクシー協会、公募市民、市
- 役割
 - ・道路運送法に基づき、バス等の旅客輸送の確保と地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。

江南市

- 必要に応じて「委員会」を設置
- ・交通会議での協議事項について、予め庁内調整等が必要な場合、都度必要に応じて委員会を設置。



【来年度の体制】

江南市地域公共交通会議

- 体制
 - ・有識者、国、県、警察、道路管理者、老人クラブ、江南厚生病院、社会福祉協議会、県バス協会、バス事業者、県タクシー協会、公募市民、市
 - ・その他交通会議で必要と認める者(市長が委嘱(議会、周辺自治体、鉄道事業者等をオブザーバーとして参加要請する。))
 - ・集中して協議すべき事項が生じた場合、「部会」を設置できる。
- 役割
 - ・道路運送法に基づき、バス等の旅客輸送の確保と地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。
 - ・部会での協議結果をふまえ、関係者の合意形成を図る。(承認の場)
 - ・交通会議での合意事項や輸送サービスに関する事業について、事業の実施状況を定期的に評価を行う。(評価機関)
- ※法定協議会への転換
 - ・将来のまちづくりの方向性と公共交通に対する地域の機運の高まりが見通された段階で、まちづくりと連動した公共交通の再編が必要となった際には、法定協議会への転換を行う。

江南市

- 必要に応じて「委員会」を設置
- ・交通会議での協議事項について、予め庁内調整等が必要な場合、都度必要に応じて委員会を設置。



下部組織

江南市地域公共交通会議 検討部会(新設)

- 体制
 - ・有識者、老人クラブ、社会福祉協議会、事業者、公募市民、市等から組成
- 役割
 - ・江南市地域公共交通会議の下部組織
 - ・地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項について、専門的に集中して協議し、協議結果を江南市地域公共交通会議に報告・提案する。



※来年度の検討部会での主な協議事項

- 既存の公共交通サービスについての指摘事項(地域格差の扱い、いこまいCARの制度見直し等)
- 新たな交通サービスについての指摘事項(地域全体で公共交通を実現するための施策等)
- 財政負担、その他についての指摘事項(モニタリング・評価手法の検討)